

「STUDY GUIDE 2015」 変更部分について

※ 「STUDY GUIDE」は入学年次のための配布のため、記載内容に変更があった部分のみ、この冊子にまとめて掲載しています。

教務課
2016年4月1日

【本冊子について】

- ◎ 本冊子では、2015年度入学の学生に対して、すでに配布されている『STUDY GUIDE 2015』に記載されている事項について、変更があった部分をまとめたものです。
- ◎ 『STUDY GUIDE』同様に、重要なものですので、必ず内容を確認し、必要な部分については『STUDY GUIDE』とともに保存しておいてください。

【注意事項】

- ※ この冊子は主に「授業」「資格取得」に関する変更を掲載しています。なお、「資格・検定」「副専攻」の変更部分については、この冊子には掲載されていないので、最新版の『STUDY GUIDE』を大学HPより参照してください。また、その他の項目についても同様に最新版の『STUDY GUIDE』を参照してください。最新版の『STUDY GUIDE』は教務課カウンターにも備え付けています。
- ※ 『STUDY GUIDE』に記載されている内容、およびこの冊子に記載されている変更点は、履修登録や資格取得、卒業に関わる大変重要なものですので、漏れなく確認してください。

事務手続き 「休学」

【事務手続き一部変更】 2015年度入学生に適用

(休学)

やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上「休学願」(教務課備付)を提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができます。

「休学願」は、教務課で取り扱います。事情により来学できない場合は、電話連絡の上、簡易書留で郵送してください。

病気による休学は医師の診断書が必要です。

(略)

授業・科目一覽
「基盤教育科目」

2017年度より変更があった部分

基盤教育科目

(略)

(1) I. 基礎科目群の追加 (網掛け部分)

▶外国語科目

(略)

(英語)

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
(略)							
Campus English		1		○	○	○	グローバルキャリア コース専用科目
Academic English 1		1		○	○	○	
Academic English 2		1		○	○	○	

(略)

(2) III. キャリア科目群の追加 (網掛け部分)

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
(略)							
キャリア数学2		2		○	○	○	
キャリア数学3		2			○	○	
キャリア数学4		2			○	○	
文章論演習		2		○	○	○	
キャリア英語		2		○	○	○	
文章理解演習		2			○	○	
社会科学概論1		2		○	○	○	
社会科学概論2		2			○	○	
人文科学総論		2			○	○	
自然科学総論		2			○	○	
キャリア形成論1		2		○	○	○	

(略)							
表現コミュニケーション (ダンス・ワークショップ 2)		2	○	○	○	○	
表現コミュニケーション 1		2	○	○	○	○	
表現コミュニケーション 2		2	○	○	○	○	
グローバルキャリア論		2	○	○	○	○	
(略)							
追手門学院大学リーダーズ・ スクール・ゼミナール		2	○	○	○	○	リーダー養成コース生 専用科目
リーダーズプログラム 1		2	○	○	○	○	最大 2 単位までを卒業に 必要な単位として認め る。単位認定は、プログ ラムが修了した翌学期に行 う。ただし、卒業年度の秋 学期に参加したプログラム は単位認定の対象としな い。
リーダーズプログラム 2		2	○	○	○	○	
リーダーズプログラム 3		2	○	○	○	○	
リーダーズプログラム 4		2	○	○	○	○	
リーダーズプログラム 5		2	○	○	○	○	
リーダーズプログラム 6		2		○	○	○	最大 2 単位までを卒業に必 要な単位として認める。 単位認定は、プログラムが 修了した翌学期に行う。た だし、卒業年度の秋学期に 参加したプログラムは単位 認定の対象としない。
リーダーズプログラム 7		2		○	○	○	
リーダーズプログラム 8		2		○	○	○	
リーダーズプログラム 9		2		○	○	○	
リーダーズプログラム 10		2		○	○	○	
リーダーズプログラム 11		2		○	○	○	単位認定は、プログラ ムが修了した翌学期に 行う。ただし、卒業年 度の秋学期に参加した プログラムは単位認定 の対象としない。

(3) IV. 総合科目群の追加 (網掛け部分)

(略)

▶国際交流科目

(略)

分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
		必修	選択	1	2	3	4	
(略)								
国際 交流 科目	Contemporary Japanese Philosophy 2		2	○	○	○	○	大学が認めた 留学生専用科目
	Japanese Economics 1		2	○	○	○	○	
	Japanese Economics 2		2	○	○	○	○	

(略)

2016年度より変更があった部分

基盤教育科目

(略)

(1) III. キャリア科目群の追加 (網掛け部分)

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
キャリアデザイン論		2	○				キャリアデザイン論は1年次に全員履修とする
プロジェクト入門		2	○				
インターンシップ基礎		2		○	○		最大4単位まで卒業に必要な単位として認める
インターンシップ実習		2		○	○		
インターンシップ実習1		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習2		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習3		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習4		1	○	○	○	○	
キャリア数学1		2		○	○	○	
キャリア数学2		2		○	○	○	
文章論演習		2		○	○	○	
キャリア英語		2		○	○	○	
社会科学概論1		2		○	○	○	
キャリア形成論1		2		○			
キャリア形成論2		2		○			
キャリア形成論3		2			○		
社会人の基礎		2				○	
プロジェクト1		2	○	○	○	○	
(略)							

(略)

(2) IV. 総合科目群の追加 (網掛け部分)

▶追大UI科目

(略)

分野	授業科目	単位数		配当年次				備考	
		必修	選択	1	2	3	4		
追 大 U I 科 目	追手門UI論		2	○	○	○	○		
	笑学入門		2	○	○	○	○		
	北摂を学ぶ		2	○	○	○	○		
	オーストラリアを学ぶ1		2	○	○	○	○		
	オーストラリアを学ぶ2		2	○	○	○	○		
	ボランティア論		2	○	○	○	○		
	地域文化創造研究		2	○	○	○	○		
	地域文化創造演習		2	○	○	○	○		
	地域学入門1		2	○	○	○	○		
	地域学入門2		2	○	○	○	○		
	Japan Today		2	○	○	○	○		グローバルキャ リアコース専用 科目
	Cultures and Societies in Japan		2		○	○	○		
	留学事後演習		2			○			

(略)

大学院関係事項

2017年度より変更があった部分

2017年度開講科目表【臨床心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
必 修	臨床心理学特論 1	2	中村 このゆ 教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理学特論 2	2	永野 浩二 准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理面接特論 1	2	永野 浩二 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理面接特論 2	2	吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理アセスメント演習 1	2	辻 潔 准教授 馬場 天信 教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理アセスメント演習 2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 教授 永野 浩二 准教授 辻 潔 准教授 吉村 晋平 准教授	1年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理実習 A B	2	溝部 宏二 教授 馬場 天信 教授 中村 このゆ 教授 倉西 宏 講師	2年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ	
選 択 必 修	臨床心理学研究法特論 1	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 教授 吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理学研究法特論 2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 教授 吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	人格心理学特論	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)	
	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)	
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	前期	(隔年開講)	
	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	同	後期		
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期		
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	投映法特論	2	明翫 光宜 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理地域援助特論	2	中田 行重 講師	同	前期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
	心理療法特論 1	2	米山 直樹 講師	同	前期	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
	心理療法特論 2	2	川畑 直人 講師	同	不開講	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
学校臨床心理学特論	2	森田 喜治 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ		
履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
選 択 必 修	臨床心理学研究法演習 I 1	1	中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授	1年次	前期		
	臨床心理学研究法演習 I 2	1	永野 浩二 准教授 吉村 晋平 准教授	同	後期		
	臨床心理学研究法演習 II 1 A B	1	馬場 天信 教授 溝部 宏二 教授	2年次	前期		
	臨床心理学研究法演習 II 2 A B	1	中村 このゆ 教授 溝部 宏二 教授	同	後期		
	臨床心理学コース演習 1 A B C D E F G	1	倉西 宏 講師 中村 このゆ 教授 吉村 晋平 准教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 教授	同	前期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理学コース演習 2 A B C D E F G	1	倉西 宏 講師 中村 このゆ 教授 吉村 晋平 准教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 教授	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ	
	上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。						
	選 択 必 修	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	1年次以上	不開講	(隔年開講)
言語発達支援論		2	高橋 登 講師	同	前期	集中 (隔年開講)	
学校カウンセリング特論		2	三川 俊樹 教授	同	前期		
発達進化特論		2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)	
育児支援特論		2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)	
保育支援特論		2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
社会認知神経科学特論		2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)	
生涯教育心理学演習		2		同	不開講		
生涯発達心理学演習		2	田爪 宏二 講師	同	前期		
発達心理アセスメント演習		2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)	
上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	不開講			
上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	不開講			
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。							

2017年度開講科目表【生涯発達・生涯教育心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	A 生涯発達・生涯教育心理学研究演習 B C D E F G	1	乾 敏郎 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	1年次以上	後期	
	A 生涯発達・生涯教育心理学コース演習1 B C D E F G	1	乾 敏郎 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	2年次	前期	(修士論文指導)
	A 生涯発達・生涯教育心理学コース演習2 B C D E F G	1	乾 敏郎 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	同	後期	(修士論文指導)
選択	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	臨床発達心理学特論	2	田爪 宏二 講師	同	不開講	(隔年開講)
	教育臨床心理学特論	2	永野 浩二 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期	
	人格心理学特論	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)
	言語発達特論	2	高橋 登 講師	同	不開講	(隔年開講)
	言語発達支援論	2	高橋 登 講師	同	前期	集中(隔年開講)
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)
択	保育支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)
	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	生涯教育心理学演習	2		同	不開講	
	生涯発達心理学演習	2	田爪 宏二 講師	同	前期	
必修	社会認知神経科学演習	2	乾 敏郎 教授	同	不開講	(隔年開講)
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)
	臨床発達心理実習1	2	乾 敏郎 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	同	前期	
	臨床発達心理実習2	2	三川 俊樹 教授 石王 敦子 教授	同	後期	
以上の科目から、16単位以上を修得すること。						
選択	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期	
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)
	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)
	環境心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	前期	(隔年開講)
	対人行動学特論	2	金政 祐司 教授	同	後期	(隔年開講)
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
択	集団力学特論	2	浦 光博 教授	同	不開講	(隔年開講)
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。						

2017年度開講科目表【社会・環境・犯罪心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅰ A B C D	2	金政 祐司 教授 浦 光博 教授 東 正訓 教授 荒井 崇史 准教授	1年次	通年	
	社会・環境・犯罪心理学コース演習Ⅱ A B C D	2	金政 祐司 教授 浦 光博 教授 東 正訓 教授 荒井 崇史 准教授	2年次	通年	(修士論文指導)
選択	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)
	環境心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	前期	(隔年開講)
	対人行動学特論	2	金政 祐司 教授	同	後期	(隔年開講)
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
	集団力学特論	2	浦 光博 教授	同	不開講	(隔年開講)
	以上の講義科目から、4科目8単位以上を修得すること。					
必修	上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	前期	
	上級環境心理学演習	2		同	不開講	
	上級犯罪心理学演習	2	荒井 崇史 准教授	同	前期	
	上級対人行動学演習	2	金政 祐司 教授	同	前期	
	上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	後期	
以上の演習科目から、1科目2単位以上を修得すること。						
選択	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期	
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)
	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	同	後期	(隔年開講)
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	臨床発達心理学特論	2	田爪 宏二 講師	同	不開講	(隔年開講)
	教育臨床心理学特論	2	永野 浩二 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期	
	人格心理学特論	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)
	言語発達特論	2	高橋 登 講師	同	不開講	(隔年開講)
	言語発達支援論	2	高橋 登 講師	同	前期	集中(隔年開講)
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)
	保育支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)
	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	生涯教育心理学演習	2		同	不開講	
	生涯発達心理学演習	2	田爪 宏二 講師	同	後期	
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)
臨床発達心理実習1	2	乾 敏郎 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	同	前期		
臨床発達心理実習2	2	三川 俊樹 教授 石王 敦子 教授	同	後期		
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。						

【2017年度臨床心理学受験資格に関する指定科目】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必 修	臨床心理学特論 1	2	中村 このゆ 教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理学特論 2	2	永野 浩二 准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理面接特論 1	2	永野 浩二 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理面接特論 2	2	吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理アセスメント演習 1	2	辻 潔 准教授 馬場 天信 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理アセスメント演習 2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 教授 永野 浩二 准教授 辻 潔 准教授 吉村 晋平 准教授	1年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理実習 A B	2	溝部 宏二 教授 馬場 天信 准教授 中村 このゆ 教授 倉西 宏 講師	2年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ
選 択 必 修	臨床心理学研究法特論 1	2	中村 このゆ 教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
			中鹿 彰 准教授			
			永野 浩二 准教授			
	臨床心理学研究法特論 2	2	中村 このゆ 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
			中鹿 彰 准教授			
			永野 浩二 准教授			
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
			駿地 眞由美 准教授			
	人格心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
			三川 俊樹 教授			
	教育心理学特論	2	東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)
			荒井 崇史 講師			
	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)
			荒井 崇史 講師			
	犯罪心理学特論	2	溝部 宏二 教授	同	後期	(隔年開講)
田中 秀明 准教授						
精神医学特論	2	中鹿 彰 教授	同	前期	(隔年開講)	
		田中 秀明 准教授				
神経生理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)	
		中鹿 彰 教授				
障害者(児)心理学特論	2	明翫 光宜 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
		明翫 光宜 講師				
投映法特論	2	中田 行重 講師	同	前期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
		中田 行重 講師				
臨床心理地域援助特論	2	米山 直樹 講師	同	前期	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
		米山 直樹 講師				
心理療法特論 1	2	川畑 直人 講師	同	不開講	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
		川畑 直人 講師				
心理療法特論 2	2	森田 喜治 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
		森田 喜治 講師				
選 択 必 修	臨床心理学研究法演習 I 1	1	中鹿 彰 教授	1年次	前期	
			辻 潔 准教授			
	臨床心理学研究法演習 I 2	1	永野 浩二 准教授	同	後期	
			吉村 晋平 准教授			
	臨床心理学研究法演習 II 1	1	馬場 天信 准教授	2年次	前期	
			溝部 宏二 教授			
	臨床心理学研究法演習 II 2	1	中村 このゆ 教授	同	後期	
			溝部 宏二 教授			
	臨床心理学コース演習 1	1	倉西 宏 講師	同	前期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
			中村 このゆ 教授			
			吉村 晋平 准教授			
			中鹿 彰 教授			
			辻 潔 准教授			
			永野 浩二 准教授			
			馬場 天信 准教授			
臨床心理学コース演習 2	1	倉西 宏 講師	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ	
		中村 このゆ 教授				
		吉村 晋平 准教授				
		中鹿 彰 教授				
		辻 潔 准教授				
		永野 浩二 准教授				
		馬場 天信 准教授				
上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。						
選 択 必 修	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	1年次以上	不開講	(隔年開講)
	言語発達支援論	2	高橋 登 講師	同	前期	集中 (隔年開講)
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)
	保育支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)
	生涯教育心理学演習	2		同	不開講	
	生涯発達心理学演習	2	田爪 宏二 講師	同	前期	
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)
上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	不開講		
上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	不開講		
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。						

2016年度より変更があった部分

経済学研究科

【大学院関係事項 経済学研究科 専攻履修及びその他についての諸注意(博士前期課程)】
2015 年度入学生に適用

専攻履修及びその他についての諸注意(博士前期課程)

I 一般的事項

- (1)専攻履修については、大学院学則、学位規程、研究科規程、その他の規程を熟読の上、開講科目一覧表やシラバス等を参照し、履修科目を決定すること。
- (2)履修登録は、所定の方法に従って、指定の期日までに行うこと。履修登録がされていないと、単位修了の認定を受けることができない。

II 単位修得

- (1)指導教員の演習 I、演習 II 各 4 単位計 8 単位を必修とし、他の科目と合わせて 30 単位以上を修得しなければならない。ただし、指導教員以外の演習を履修した場合は合計 8 単位まで修了単位として認定する。
- (2)経営学研究科の授業科目を履修することについては、指導教員が研究上特に必要と認めた場合、合計 8 単位まで履修することができることとし、修了単位として認定する。
- (3)演習 I の単位を修得しなければ演習 II を履修することはできない。ただし演習 I・II は同一科目でなければならない。
- (4)学業成績は、100 点満点で 60 点以上を合格とする。

III 修士論文又は特定の課題についての研究の成果

2016 年度入学者より、修士論文に代えて「特定の課題についての研究の成果」を提出することができます。「特定の課題についての研究の成果」とは、大学院設置基準第 16 条第 2 項及び追手門学院大学大学院経済学研究科規程第 13 条に基づき規定されており、修士論文に代わるものです。職場に生かせる経済を学ぶことを目的に、個人の実務実績の事例研究、特定の企業や団体・事例・計画に関する課題の検討などをテーマとした研究成果を修士論文と同様に評価します。なお、修士論文は博士後期課程進学および税理士試験科目免除の必要条件になります。

- (1)修士論文又は特定の課題についての研究の成果に関する計画書(2,000 字以内)は、論文又は特定の課題についての研究の成果提出の 6 ヶ月前までに教務課へ提出しなければならない。
- (2)修士論文又は特定の課題についての研究の成果を提出する者は、論文 3 部(2 部はコピーでもよい)を提出期限(1 月 14 日または 6 月 30 日。ただし、本学の休業日に当たる場合は、翌日とする)までに教務課に提出しなければならない。

※修士論文又は特定の課題についての研究の成果様式(ワープロ使用の場合)

A4 版、40 字・30 行、横書、左綴じ、余白(上 25mm・下 30mm・左 35mm・右 20mm)

- (3)病気その他やむを得ない事情により修士論文又は特定の課題についての研究の成果を

期日までに提出できないものは、その理由を証する書面を添えて、提出期限日までに研究科長に申し出た場合に限り、延期を許可することがある。

(4) 修士論文又は特定の課題についての研究の成果については、専攻の学問分野について精深な学識と研究能力を確認するため審査委員による提出論文を中心とした口頭試問を実施し、厳格な審査を行う。

(5) 審査にあたっては、以下の項目について評価を行う。

修士論文

- ① 研究テーマについて、問題意識が明確であり、的確な分析・考察がなされていること。
- ② 論旨の展開が明確かつ一貫しており論文構成が体系的になされ、有意義な問題提起があること
- ③ 本文、図、表、引用、文献 (外国語文献を含む) 等の記述が十分かつ適切であること。

特定の課題についての研究の成果

- ① 経済学専攻分野に関する学修・研究の成果として、高度の専門性が要求される職業等に必要とされる能力を有することを立証するに足るものであること。
- ② 論旨の展開が明確かつ一貫しており論文構成が体系的になされ、実証的であること。
- ③ 本文、図、表、引用、文献等の記述が十分かつ適切であること。

IVその他

(1) 教務課において発行する下記の証明書の交付を希望する者は、あらかじめ交付願を教務課に提出すること。

- i) 単位修得及び学業成績証明書
- ii) 修了見込証明書
- iii) 修了証明書
- iv) 在学証明書

(2) その他資格取得及び学生生活一般のことについては「資格取得に関する事項、その他の規則・規程」を参照のこと。なお、その他は研究科委員会で決定し、必要と認めた場合はその都度掲示によって連絡する。

【大学院関係事項 経済学研究科 開講科目一覧表】2015年度入学生に適用

開講科目一覧表(2016年度)

別表 経済学専攻(博士前期課程)

授業科目	単位	大学院進学希望者指定科目1	担当教員	備考
理論経済学特論 I	4	○	博士(経済学) 教授 橋本 圭司	
理論経済学特論 I 演習 I	4	○		
理論経済学特論 I 演習 II	4	○		
理論経済学特論 II	4	○	Ph.D 准教授 藤川 武海	
理論経済学特論 II 演習 I	4	○		
理論経済学特論 II 演習 II	4	○		
理論経済学特論 III	4	○		本年度不開講
理論経済学特論 III 演習 I	4	○		
理論経済学特論 III 演習 II	4	○		
国際経済論特論	4	○		本年度不開講
国際経済論特論演習 I	4	○		
国際経済論特論演習 II	4	○		
経済学史特論	4	○		本年度不開講
経済学史特論演習 I	4	○		
経済学史特論演習 II	4	○		
外国経済史特論	4	○	非常勤講師 水原 正亨	
日本経済史特論	4	○		本年度不開講
日本経済史特論演習 I	4	○		
日本経済史特論演習 II	4	○		
経済政策特論 I	4	○	経済学博士 教授 村上 亨	
経済政策特論 I 演習 I	4	○		
経済政策特論 I 演習 II	4	○		
経済政策特論 II	4	○	教授 奥井 克美	
経済政策特論 II 演習 I	4	○		
経済政策特論 II 演習 II	4	○		
産業組織論特論	4	○	教授 堀 一郎	
産業組織論特論演習 I	4	○		
産業組織論特論演習 II	4	○		
日本経済論特論	4	○		本年度不開講
日本経済論特論演習 I	4	○		
日本経済論特論演習 II	4	○		
オーストラリア経済論特論	4	○	教授 森島 寛	
オーストラリア経済論特論演習 I	4	○		
オーストラリア経済論特論演習 II	4	○		
農業経済論特論	4	○		本年度不開講
農業経済論特論演習 I	4	○		
農業経済論特論演習 II	4	○		
財政学特論	4	○	経済学博士 教授 寺本 博美	
財政学特論演習 I	4	○		
財政学特論演習 II	4	○		
租税論特論	4	○	准教授 細井 雅代	
租税論特論演習 I	4	○		
租税論特論演習 II	4	○		
金融論特論	4	○	教授 西村 和志	
金融論特論演習 I	4	○		
金融論特論演習 II	4	○		
国際金融論特論	4	○	博士(経済学) 教授 松本 直樹	
国際金融論特論演習 I	4	○		
国際金融論特論演習 II	4	○		
統計学特論	4	○	博士(経済学) 准教授 小椋 真奈美	
統計学特論演習 I	4	○		
統計学特論演習 II	4	○		
経済統計学特論	4	○		本年度不開講
経済統計学特論演習 I	4	○		
経済統計学特論演習 II	4	○		
経済数学特論	4	○		本年度不開講
経済数学特論演習 I	4	○		
経済数学特論演習 II	4	○		
外国経済論特論	4	○		本年度不開講
労働経済論特論	4	○		
労働経済論特論演習 I	4	○		
労働経済論特論演習 II	4	○		本年度不開講
エネルギー-経済論特論	4	○	博士(エネルギー科学) 准教授 松田 年弘	
エネルギー-経済論特論演習 I	4	○		本年度不開講
エネルギー-経済論特論演習 II	4	○		本年度不開講

社会保障特論	4	○		本年度不開講
社会保障特論演習Ⅰ	4	○		
社会保障特論演習Ⅱ	4			
福祉社会論特論	4	○	博士(経済学) 教授 李 義昭	
福祉社会論特論演習Ⅰ	4	○		
福祉社会論特論演習Ⅱ	4			
NPO 特論	4	○	博士(工学) 准教授 今堀 洋子	
NPO 特論演習Ⅰ	4	○		
NPO 特論演習Ⅱ	4			
税法特論	4	○		本年度不開講
税法特論演習Ⅰ	4	○		
税法特論演習Ⅱ	4			
特殊講義特論Ⅰ	4	○	Ph.D 准教授 藤川 武海	
特殊講義特論Ⅱ	4	○		
特殊講義特論Ⅲ	4	○		
特殊講義特論Ⅳ	4	○		本年度不開講

【大学院関係事項 経済学研究科 開講科目一覧表】2015年度入学生に適用

別表 経済学専攻(博士後期課程)			
授業科目	単位	担当教員	備考
理論経済学特殊研究Ⅰ	4	博士(経済学) 教授 橋本 圭司	
理論経済学特殊研究Ⅱ	4	Ph.D 准教授 藤川 武海	
国際経済論特殊研究	4		本年度不開講
日本経済史特殊研究	4		本年度不開講
経済政策特殊研究Ⅰ	4	経済学博士 教授 村上 亨	
経済政策特殊研究Ⅱ	4	教授 奥井 克美	
産業組織論特殊研究	4	教授 堀 一郎	
日本経済論特殊研究	4		本年度不開講
農業経済論特殊研究	4		本年度不開講
財政学特殊研究	4	経済学博士 教授 寺本 博美	
租税論特殊研究	4		本年度不開講
国際金融論特殊研究	4	博士(経済学) 教授 松本 直樹	
統計学特殊研究	4	博士(経済学) 准教授 小椋 真奈美	
経済数学特殊研究	4		本年度不開講
社会保障特殊研究	4		本年度不開講
福祉社会論特殊研究	4	博士(経済学) 教授 李 義昭	
研究演習	12	経済学博士 教授 寺本 博美	
		博士(経済学) 教授 橋本 圭司	
		教授 堀 一郎	
		博士(経済学) 教授 松本 直樹	
		経済学博士 教授 村上 亨	

経営学研究科

【経営学研究科経営学専攻博士前期課程科目表】2015年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
経営学原理特論	4		本年度不開講
経営学特論	4		
経営学特論演習Ⅰ	4		
経営学特論演習Ⅱ	4	博士(経営学) 教授 植藤 正志	
経営史特論	4		
経営史特論演習Ⅰ	4		
経営史特論演習Ⅱ	4		
企業論特論	4	博士(農学) 教授 八木 俊輔	
企業論特論演習Ⅰ	4		
企業論特論演習Ⅱ	4		
経営管理論特論	4	博士(商学) 准教授 村上 喜郁	
経営管理論特論演習Ⅰ	4		
経営管理論特論演習Ⅱ	4		
人的資源管理論特論	4	博士(経営学) 准教授 枋尾 安伸	
人的資源管理論特論演習Ⅰ	4		
人的資源管理論特論演習Ⅱ	4		
経営組織論特論	4	博士(経営学) 准教授 神吉 直人	
経営組織論特論演習Ⅰ	4		
経営組織論特論演習Ⅱ	4		
中堅・中小企業経営特論	2	教授 水野 浩児	
マーケティング論特論	4	教授 池田 信寛	
マーケティング論特論演習Ⅰ	4		
マーケティング論特論演習Ⅱ	4		
マーケティング情報システム論特論	4	博士(経営学) 准教授 朴 修賢	
マーケティング情報システム論特論演習Ⅰ	4		
マーケティング情報システム論特論演習Ⅱ	4		
財務管理論特論	4	准教授 岡崎 利美	
財務管理論特論演習Ⅰ	4		
財務管理論特論演習Ⅱ	4		
環境経営論特論	4		本年度不開講
環境経営論特論演習Ⅰ	4		
環境経営論特論演習Ⅱ	4		
国際経営論特論	4	経営学博士 教授 L.S.de Silva	
国際経営論特論演習Ⅰ	4		
国際経営論特論演習Ⅱ	4		
国際関係論特論	4	博士(創造都市) 教授 中村 都	
国際関係論特論特論演習Ⅰ	4		
国際関係論特論特論演習Ⅱ	4		
異文化間コミュニケーション特論	4		本年度不開講
異文化間コミュニケーション特論演習Ⅰ	4		
異文化間コミュニケーション特論演習Ⅱ	4		
経営統計学特論	4	博士(経済学) 教授 坂上 佳隆	
経営統計学特論演習Ⅰ	4		
経営統計学特論演習Ⅱ	4		
オペレーションズ・リサーチ特論	4		本年度不開講
情報科学特論	4	博士(工学) 准教授 中野 統英	
情報科学特論演習Ⅰ	4		
情報科学特論演習Ⅱ	4		
システム科学特論	4	工学博士 教授 福田 得夫	
システム科学特論演習Ⅰ	4		
システム科学特論演習Ⅱ	4		
社会情報システム特論	4	博士(情報学) 准教授 井出 明	
社会情報システム特論演習Ⅰ	4		
社会情報システム特論演習Ⅱ	4		

【経営学研究科経営学専攻博士前期課程科目表】2015年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
経営情報論特論	4		本年度不開講
経営情報論特論演習Ⅰ	4		
経営情報論特論演習Ⅱ	4		
ERPビジネスプロセス特論	4	非常勤講師 酒井 哲夫	
社会情報学特論	4	博士(国際公共政策)	
社会情報学特論演習Ⅰ	4	教授 篠原 健	
社会情報学特論演習Ⅱ	4		
グローバルIT経営特論	2	博士(国際公共政策) 教授 篠原 健	
会計学原理特論	4	博士(経済学)	
会計学原理特論演習Ⅰ	4	教授 山下 克之	
会計学原理特論演習Ⅱ	4		
会計学特論	4		本年度不開講
会計学特論演習Ⅰ	4		
会計学特論演習Ⅱ	4		
財務諸表論特論	4		本年度不開講
管理会計論特論	4	博士(経営学)	
管理会計論特論演習Ⅰ	4	教授 李 建	
管理会計論特論演習Ⅱ	4		
情報会計論特論	4		本年度不開講
情報会計論特論演習Ⅰ	4		
情報会計論特論演習Ⅱ	4		
税務会計論特論	4	博士(経営学)	
税務会計論特論演習Ⅰ	4	教授 川端 保至	
税務会計論特論演習Ⅱ	4		
財務会計論特論	4	博士(経済学)	
財務会計論特論演習Ⅰ	4	准教授 宮宇地 俊岳	
財務会計論特論演習Ⅱ	4		
監査論特論	4	博士(経営学)	
監査論特論演習Ⅰ	4	准教授 藤原 英賢	
監査論特論演習Ⅱ	4		
民法特論	4		本年度不開講
民法特論演習Ⅰ	4		
民法特論演習Ⅱ	4		
商法特論	4	博士(法学)	
商法特論演習Ⅰ	4	教授 徐 治文	
商法特論演習Ⅱ	4		
経済法特論	4		本年度不開講
税法学特論	4		本年度不開講
国際法務特論	4		本年度不開講
企業法務特論	4	教授 水野 浩児	
企業法務特論演習Ⅰ	4		
企業法務特論演習Ⅱ	4		
産業社会心理学特論	4	博士(人間科学)	
産業社会心理学特論演習Ⅰ	4	教授 金川 智恵	
産業社会心理学特論演習Ⅱ	4		
産業組織心理学特論	4		本年度不開講
産業組織心理学特論演習Ⅰ	4		
産業組織心理学特論演習Ⅱ	4		
産業心理解析特論	4		
産業心理解析特論演習Ⅰ	4	教授 原田 章	
産業心理解析特論演習Ⅱ	4		
広告心理学特論	4	博士(人間科学)	
広告心理学特論演習Ⅰ	4	准教授 長岡 千賀	
広告心理学特論演習Ⅱ	4		
コミュニティ心理学特論	4	博士(人間科学)	
コミュニティ心理学特論演習Ⅰ	4	准教授 石盛 真徳	
コミュニティ心理学特論演習Ⅱ	4		

【経営学研究科経営学専攻博士後期課程科目表】2015～2014年度入学生に適用

授 業 科 目	単 位	担 当 教 員	備 考
経営学特殊研究	4		本年度不開講
経営史特殊研究	4	博士(経営学) 教授 植藤 正志	
企業論特殊研究	4	博士(農学) 教授 八木 俊輔	
国際比較経営論特殊研究	4		本年度不開講
国際経営論特殊研究	4	経営学博士 教授 L.S.de Silva	
経営管理論特殊研究	4		本年度不開講
国際関係論特殊研究	4	博士(創造都市) 教授 中村 都	
経営統計学特殊研究	4	博士(経済学) 教授 坂上 佳隆	
マーケティング論特殊研究	4	教授 池田 信寛	
環境経営論特殊研究	4		本年度不開講
オペレーションズ・リサーチ特殊研究	4		本年度不開講
情報科学特殊研究	4	博士(工学) 准教授 中野 統英	
システム科学特殊研究	4	工学博士 教授 福田 得夫	
社会情報学特殊研究	4	博士(国際公共政策) 教授 篠原 健	
社会情報システム特殊研究	4	博士(情報学) 准教授 井出 明	
経営情報論特殊研究	4		本年度不開講
会計学原理特殊研究	4	博士(経済学) 教授 山下 克之	
会計学特殊研究	4		本年度不開講
税務会計論特殊研究	4	博士(経営学) 教授 川端 保至	
管理会計論特殊研究	4	博士(経営学) 教授 李 建	
民法特殊研究	4		本年度不開講
商法特殊研究	4	博士(法学) 教授 徐 治文	
産業社会心理学特殊研究	4	博士(人間科学) 教授 金川 智恵	
産業組織心理学特殊研究	4		本年度不開講
産業心理解析特殊研究	4	教授 原田 章	
コミュニティ心理学特殊研究	4	博士(人間科学) 准教授 石盛 真徳	
研究演習	12	博士(情報学) 准教授 井出 明	
		博士(経営学) 教授 植藤 正志	
		博士(人間科学) 教授 金川 智恵	
		博士(経営学) 教授 川端 保至	
		博士(国際公共政策) 教授 篠原 健	
		博士(法学) 教授 徐 治文	
		経営学博士 教授 L.S.de Silva	
		教授 原田 章	
		工学博士 教授 福田 得夫	

心理学研究科

【心理学研究科心理学専攻開講科目表】2015年度入学生に適用
【臨床心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
必 修	臨床心理学特論 1	2	中村 このゆ 教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理学特論 2	2	永野 浩二 准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理面接特論 1	2	永野 浩二 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理面接特論 2	2	吉村 晋平 講師 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理アセスメント演習 1	2	辻 潔 准教授 馬場 天信 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理アセスメント演習 2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 教授 永野 浩二 准教授 辻 潔 准教授 吉村 晋平 講師	1年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理実習 A B	2	溝部 宏二 教授 馬場 天信 准教授 中村 このゆ 教授 倉西 宏 講師	2年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ	
選 択 必 修	臨床心理学研究法特論 1	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師 倉西 宏 講師	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理学研究法特論 2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	前期	(隔年開講)	
	人格心理学特論	2	松村 京子 講師	同	前期	集中 (隔年開講)	
	認知心理学特論	2	清水 寛之 講師	同	前期	集中 (隔年開講)	
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	同	後期		
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期		
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	前期	(隔年開講)	
	投映法特論	2	高瀬 由嗣 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理地域援助特論	2	中田 行重 講師	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	心理療法特論 1	2	米山 直樹 講師	同	不開講	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
	心理療法特論 2	2	川畑 直人 講師	同	後期	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
学校臨床心理学特論	2	森田 喜治 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ		
選 択 必 修	臨床心理学研究法演習 I 1	1	中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授	1年次	前期		
	臨床心理学研究法演習 I 2	1	永野 浩二 准教授 吉村 晋平 講師	同	後期		
	臨床心理学研究法演習 II 1 A B	1	馬場 天信 准教授 溝部 宏二 教授	2年次	前期		
	臨床心理学研究法演習 II 2 A B	1	中村 このゆ 教授 溝部 宏二 教授	同	後期		
	臨床心理学コース演習 1 A B C D E F H	1	倉西 宏 講師 中鹿 彰 教授 中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	前期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理学コース演習 2 A B C D E F H	1	倉西 宏 講師 中鹿 彰 教授 中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師 中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ	
	上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。						
	選 択	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)
言語発達支援特論		2		同	不開講	(隔年開講)	
学校カウンセリング特論		2	三川 俊樹 教授	同	前期		
育児支援特論		2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
保育支援特論		2	松村 京子 講師	同	後期	集中 (隔年開講)	
生涯教育心理学演習		2	河崎 美保 准教授	同	後期		
生涯発達心理学演習		2		同	不開講		
発達心理アセスメント演習		2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
上級社会心理学演習		2	東 正訓 教授	同	前期		
上級集団力学演習		2	浦 光博 教授	同	後期		
上級社会認知神経科学演習	2	乾 敏郎 教授	同	後期			
上記の必修科目、選択必修科目及び選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。							

【生涯発達・生涯教育心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
必修	生涯発達・生涯教育心理学研究演習	1	三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授	1年次以上	後期		
			石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授		不開講		
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習1	1	三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授	2年次	前期		(修士論文指導)
			石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授		不開講		
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習2	1	三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授	同	後期		(修士論文指導)
			石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授		不開講		
選択必修	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	1年次以上	不開講	(隔年開講)	
	認知心理学特論	2	清水 寛之 講師	同	前期	集中(隔年開講)	
	臨床発達心理学特論	2	田爪 宏二 教授	同	前期	(隔年開講)	
	教育臨床心理学特論	2	永野 浩二 准教授	同	前期	(隔年開講)	
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期		
	人格心理学特論	2	松村 京子 講師	同	前期	集中(隔年開講)	
	言語発達特論	2	高橋 登 講師	同	前期	(隔年開講)	
	言語発達支援論	2		同	不開講	(隔年開講)	
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	保育支援特論	2	松村 京子 講師	同	後期	集中(隔年開講)	
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期	(隔年開講)	
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期		
	生涯教育心理学演習	2	河崎 美保 准教授	同	後期		
	生涯発達心理学演習	2		同	不開講		
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	臨床発達心理実習1	2	田中 秀明 准教授 河崎 美保 准教授	同	前期		
			大神田 麻子 准教授				
臨床発達心理実習2	2	三川 俊樹 教授	同	後期			
以上の科目から、16単位以上を修得すること。							
選択	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期		
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	前期	(隔年開講)	
	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	環境心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)	
			荒井 崇史 講師 東 正訓 教授				
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	対人行動学特論	2	金政 祐司 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	前期	(隔年開講)	
集団力学特論	2	浦 光博 教授	同	前期	(隔年開講)		
社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	不開講	(隔年開講)		

上記の必修科目、選択必修科目及び選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。

【社会・環境・犯罪心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	社会・環境・犯罪心理学コース演習 I A B C D E	2	金政 祐司 教授 浦 光博 教授 東 正訓 教授 荒井 崇史 講師 東 正訓 教授 乾 敏郎 教授	1年次	通年	
	社会・環境・犯罪心理学コース演習 II A B C D E	2	金政 祐司 教授 浦 光博 教授 東 正訓 教授 荒井 崇史 講師 東 正訓 教授 乾 敏郎 教授	2年次	通年 不開講	(修士論文指導)
選択	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	1年次以上	不開講	(隔年開講)
	環境心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
	対人行動学特論	2	金政 祐司 教授	同	不開講	(隔年開講)
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	前期	(隔年開講)
	集団力学特論	2	浦 光博 教授	同	前期	(隔年開講)
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	不開講	(隔年開講)
必修	以上の講義科目から、4科目8単位以上を修得すること。					
	上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	前期	
	上級環境心理学演習	2		同	不開講	
	上級犯罪心理学演習	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	前期	
	上級対人行動学演習	2	金政 祐司 教授	同	前期	
	上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	後期	
	上級社会認知神経科学演習	2	乾 敏郎 教授	同	後期	
以上の演習科目から、1科目2単位以上を修得すること。						
選択	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期	
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	前期	(隔年開講)
	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	認知心理学特論	2	清水 寛之 講師	同	前期	集中(隔年開講)
	臨床発達心理学特論	2	田爪 宏二 講師	同	前期	(隔年開講)
	教育臨床心理学特論	2	永野 浩二 准教授	同	前期	(隔年開講)
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期	
	人格心理学特論	2	松村 京子 講師	同	前期	集中(隔年開講)
	言語発達特論	2	高橋 登 講師	同	前期	(隔年開講)
	言語発達支援論	2		同	不開講	(隔年開講)
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	保育支援特論	2	松村 京子 講師	同	後期	(隔年開講)
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	生涯教育心理学演習	2	河崎 美保 准教授	同	後期	
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)
選択	臨床発達心理実習 1	2	田中 秀明 准教授 河崎 美保 准教授 大神田 麻子 准教授	同	通年	
	臨床発達心理実習 2	2	三川 俊樹 教授	同		
上記の必修科目、選択必修科目及び選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。						

臨床心理士受験資格に関する指定科目

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	臨床心理学特論1	2	中村 このゆ 教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理学特論2	2	永野 浩二 准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理面接特論1	2	永野 浩二 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理面接特論2	2	吉村 晋平 講師 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理アセスメント演習1	2	辻 潔 准教授 馬場 天信 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理アセスメント演習2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理基礎実習	2	永野 浩二 准教授 辻 潔 准教授 吉村 晋平 講師	1年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理実習 A B	2	溝部 宏二 教授 馬場 天信 准教授 中村 このゆ 教授 倉西 宏 講師	2年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ
選択	臨床心理学研究法特論1	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 准教授 辻 潔 准教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
			永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師 倉西 宏 講師			
	臨床心理学研究法特論2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 准教授 辻 潔 准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ
			永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 講師 倉西 宏 講師			
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	前期	(隔年開講)
	人格心理学特論	2	松村 京子 講師	同	前期	集中 (隔年開講)
	認知心理学特論	2	清水 寛之 講師	同	前期	集中 (隔年開講)
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 講師 東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	同	後期	(隔年開講)
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期	
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	前期	(隔年開講)
	投映法特論	2	高瀬 由嗣 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ
	臨床心理地域援助特論	2	中田 行重 講師	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ
心理療法特論1	2	米山 直樹 講師	同	不開講	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
心理療法特論2	2	川畑 直人 講師	同	後期	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
学校臨床心理学特論	2	森田 喜治 講師	同	同	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
必修	臨床心理学研究法演習I1	1	中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授	1年次	前期	
	臨床心理学研究法演習I2	1	永野 浩二 准教授 吉村 晋平 講師	同	後期	
	臨床心理学研究法演習II1 A B	1	馬場 天信 准教授 溝部 宏二 教授	2年次	前期	
	臨床心理学研究法演習II2 A B	1	中村 このゆ 教授 溝部 宏二 教授	同	後期	
	臨床心理学コース演習1 A B C D E F H	1	中鹿 彰 教授 倉西 宏 講師	同	前期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
			中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師			
			中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授			
			辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授			
臨床心理学コース演習2 A B C D E F H	1	中鹿 彰 教授 倉西 宏 講師	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ	
		中村 このゆ 教授 吉村 晋平 講師				
		中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授				
		辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授				
上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。						
必修	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)
	言語発達支援特論	2		同	不開講	(隔年開講)
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	保育支援特論	2	松村 京子 講師	同	後期	(隔年開講)
	生涯教育心理学演習	2	河崎 美保 准教授	同	後期	
	生涯発達心理学演習	2		同	不開講	
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 真由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	前期	
	上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	後期	
上級社会認知神経科学演習	2	乾 敏郎 教授	同	後期		
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。						

文学研究科

【文学研究科開講科目表】2015年度入学生に適用

別表 I 社会学専攻

	授 業 科 目	単位	大学院進 学希望者 指定科目	担 当 者	備考
甲 類	社会学理論演習 1	2		本年度不開講	
	社会学理論演習 2	2		本年度不開講	
	現代社会学演習 1	2		本年度不開講	
	現代社会学演習 2	2		本年度不開講	
	文化社会学演習 1	2		本年度不開講	
	文化社会学演習 2	2		本年度不開講	
	現代社会論演習 I	2		三上 剛史 教授 藤吉 圭二 教授	
	現代社会論演習 II	2		三上 剛史 教授 藤吉 圭二 教授	
	コミュニケーション文化論演習 I	2		森 真一 教授	
	コミュニケーション文化論演習 II	2		森 真一 教授	
	地域・環境論演習 I	2		足立 重和 教授	
	地域・環境論演習 II	2		足立 重和 教授	
乙 類	現代社会研究	4	○	本年度不開講	
	現代家族研究	4	○	本年度不開講	
	社会福祉学特講	4	○	本年度不開講	
	現代社会学特講	4	○	本年度不開講	
	文化社会学特講	4	○	本年度不開講	
	表象文化論特講	4	○	本年度不開講	
	文化人間学特講	4	○	本年度不開講	
	社会学的人間論特講	4	○	本年度不開講	
	社会学フィールドスタディ	4	○	本年度不開講	
	人間学フィールドスタディ	4	○	本年度不開講	
	社会規範論特論 1	2	○	上石 圭一 教授	
	社会規範論特論 2	2	○	上石 圭一 教授	
	モダニティ論特論 1	2	○	内海 博文 准教授	
	モダニティ論特論 2	2	○	内海 博文 准教授	
	リスク社会論特論 1	2	○	加藤 源太郎 准教授	
	リスク社会論特論 2	2	○	加藤 源太郎 准教授	
	家族・ジェンダー論特論 1	2	○	善積 京子 教授	
	家族・ジェンダー論特論 2	2	○	善積 京子 教授	
	社会的支援論特論 1	2	○	古川 隆司 准教授	
	社会的支援論特論 2	2	○	古川 隆司 准教授	
	社会学的人間論特論 1	2	○	蘭 由岐子 教授	
	社会学的人間論特論 2	2	○	蘭 由岐子 教授	
	メディア文化論特論 1	2	○	藤吉 圭二 教授	
	メディア文化論特論 2	2	○	藤吉 圭二 教授	
	スポーツ文化論特論 1	2	○	上田 滋夢 教授	
	スポーツ文化論特論 2	2	○	上田 滋夢 教授	
	表現文化論特論 1	2	○	富田 大介 准教授	
	表現文化論特論 2	2	○	富田 大介 准教授	

【文学研究科開講科目表】 2015年度入学生に適用

別表II 中国文化専攻

	授 業 科 目	単位	大学院進 学希望者 指定科目	担 当 者	備考
甲 類	中国哲学講義	4	○	橋本 昭典 講師	
	中国史学講義	4	○	承 志 准教授	
	中国文学講義	4	○	松家 裕子 教授	
	中国哲学演習	2	○	本年度不開講	
	中国文化演習	2		浅野 純一 教授	
	中国史学演習	2	○	承 志 准教授	
	中国文学演習	2	○	李 慶国 教授	
	東洋文化演習 1	2	○	正信 公章 教授	
	東洋文化演習 2	2	○	筒井 由起乃 准教授	
	東洋文化演習 3	2	○	永吉 雅夫 教授	
	東洋文化演習 4	2		本年度不開講	
乙 類	中国文化特殊講義(1)	4	○	磯貝 健一 教授	
	中国文化特殊講義(2)	4	○	南出 眞助 教授	
	中国文化特殊講義(3)	4	○	山口 公一 准教授	
	中国文化特殊講義(4)	4		永吉 雅夫 教授	
	中国文化特殊講義(5)	4		本年度不開講	

別表III 英文学専攻

	授 業 科 目	単位	大学院進 学希望者 指定科目	担 当 者	備考
甲 類	英米文学演習	2	○	新谷 好教授	
	英語教育演習	2	○	佐藤 恭子教授	
	英語学演習	2	○	不開講	
	英米文学特論	4	○	新谷 好教授	
	英語教育特論	4	○	不開講	
	英語学特論	4	○	佐藤 恭子教授	
乙 類	英米文学研究	4	○	増崎 恒准教授	
	英語表現法研究	4	○	J. HERRICK教授	
	英語史研究	4	○	不開講	
	英語コーパス研究	4	○	不開講	
	英語語法文法研究	4	○	貞光 宮城准教授	
	言語理論研究	4	○	平尾 日出夫教授	
	自然言語処理研究	4	○	福島 孝博准教授	

規程等

「経済学部関連規程等」

2017年度より変更があった部分

【経済学部規程一部変更】2015年度入学生に適用

別表 I (第9条関係)

1 基盤教育科目

基盤教育科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

2 学科科目

履修区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職	備考
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修	経済学	プログラム基礎演習1	2				○	○	○	科	12単位
		プログラム基礎演習2	2				○	○	○	科	
		コース基礎演習1	2				○	○	○	科	
		コース基礎演習2	2				○	○	○	科	
		プログラム演習 I-1	2						○	○	
		プログラム演習 I-2	2						○	○	
		コース演習 I-1	2						○	○	
		コース演習 I-2	2						○	○	
		プログラム演習 II-1	2							○	
		プログラム演習 II-2	2							○	
		コース演習 II-1	2							○	
		コース演習 II-2	2							○	
選択必修	経済学	基礎経済学		2		○				科	20単位以上 基礎経済学は1年次全員履修すること
		実践基礎経済学		2		○				科	
	経済理論・経済史	経済史1		2		○	○	○	○	科	
		経済史2		2		○	○	○	○	科	
		社会思想史		4		○	○	○	○	科	
		国際経済学		4			○	○	○	科	
		ミクロ経済学		4			○	○	○		
		マクロ経済学		4			○	○	○		
		経済学史		4				○	○	○	
		計量経済学		4					○	○	
	経済政策	ヒューマンエコノミー概論1		2		○	○	○	○		
		ヒューマンエコノミー概論2		2		○	○	○	○		
		租税論		4		○	○	○	○	科	
		経済政策		4			○	○	○		
		日本経済論1		2			○	○	○	科	
		日本経済論2		2			○	○	○	科	
		財政学		4			○	○	○	科	
		公共経済学		4			○	○	○	科	
		金融論		4			○	○	○	科	
		生活経済論1		2			○	○	○		
		生活経済論2		2			○	○	○		
		消費経済論1		2			○	○	○		
		消費経済論2		2			○	○	○		
		消費者保護論		2			○	○	○		
	教理・情報	労働経済学1		2				○	○		
		労働経済学2		2				○	○		
		経済数学		4		○	○	○	○	科	
		経済数学1		2		○	○	○	○	科	
	経営学	経済数学2		2		○	○	○	○	科	
		経済統計学		4			○	○	○		
		入門簿記		2			○	○	○	科	
	国際	国際コミュニケーション論		4			○	○	○		
国際事情			4			○	○	○			

選択	経済理論・経済史	経済原論		4		○	○	○	科	選択必修及び選択合わせて52単位以上
		外書講読1		2		○	○	○		
		外書講読2		2		○	○	○		
		日本経済史1		2		○	○	○	科	
		日本経済史2		2		○	○	○	科	
		日本経済史		2		○	○	○	科	
		外国経済史1		2		○	○	○	科	
		外国経済史2		2		○	○	○	科	
		外国経済史		2		○	○	○	科	
		経済理論・経済史特殊講義		2		○	○	○		
		経済変動論1		2				○	○	
		経済変動論2		2				○	○	
		経済成長論1		2				○	○	
		経済成長論2		2				○	○	
		行動経済学1		2				○	○	
		行動経済学2		2				○	○	
	経済政策	地域と暮らし1		2	○	○	○	○		
		地域と暮らし2		2	○	○	○	○		
		幸福の経済学1		2		○	○	○		
		幸福の経済学2		2		○	○	○		
		公共政策1		2		○	○	○		
		公共政策2		2		○	○	○		
		国際貿易論		4		○	○	○		
		労使関係論1		2		○	○	○		
		労使関係論2		2		○	○	○		
		国際金融論1		2		○	○	○		
		国際金融論2		2		○	○	○		
		金融ビジネス論1		2		○	○	○		
		金融ビジネス論2		2		○	○	○		
		リスクと向き合う経済学		2		○	○	○		
		社会保障		4		○	○	○		
		オーストラリア経済論		4		○	○	○	科	
		オーストラリア経済論1		2		○	○	○	科	
		オーストラリア経済論2		2		○	○	○	科	
		アメリカ経済論1		2		○	○	○	科	
		アメリカ経済論2		2		○	○	○	科	
		アメリカ経済論		2		○	○	○	科	
		ヨーロッパ経済論1		2		○	○	○	科	
		ヨーロッパ経済論2		2		○	○	○	科	
		ヨーロッパ経済論		2		○	○	○	科	
		アジア経済論1		2		○	○	○	科	
		アジア経済論2		2		○	○	○	科	
		アジア経済論		2		○	○	○	科	
		海外事情1		2		○	○	○		
		海外事情2		2		○	○	○		
		貿易政策1		2		○	○	○		
		貿易政策2		2		○	○	○		
		食料経済論1		2		○	○	○		
		食料経済論2		2		○	○	○		
		環境経済学1		2		○	○	○		
		環境経済学2		2		○	○	○		
		アジア論1		2		○	○	○		
		アジア論2		2		○	○	○		
		地域経済論1		2		○	○	○		

	地域経済論2		2	○	○	○	
	経済政策特殊講義		2	○	○	○	
	外国経済特殊講義		2	○	○	○	
	産業組織論1		2		○	○	
	産業組織論2		2		○	○	
	経済体制論1		2		○	○	
	経済体制論2		2		○	○	
	地方財政論		4		○	○	科
	ファイナンス論1		2		○	○	科
	ファイナンス論2		2		○	○	科
	経済地理1		2		○	○	科
	経済地理2		2		○	○	科
	開発経済学1		2		○	○	
	開発経済学2		2		○	○	
	地球環境論1		2		○	○	
	地球環境論2		2		○	○	
	グローバル人材の経済学1		2		○	○	
	グローバル人材の経済学2		2		○	○	
	福祉社会論1		2		○	○	
	福祉社会論2		2		○	○	
数理・情報	経済情報処理		4	○	○	○	
	経済シミュレーションゲーム		2	○	○	○	
	統計学総論1		2	○	○	○	科
	統計学総論2		2	○	○	○	科
	ソフトウェア論		4	○	○	○	
	数理・情報特殊講義		2	○	○	○	
	オペレーションズ・リサーチ1		2		○	○	
	オペレーションズ・リサーチ2		2		○	○	
	意思決定論1		2		○	○	
	意思決定論2		2		○	○	
	意思決定論		2		○	○	
	経営情報論1		2		○	○	
	経営情報論2		2		○	○	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2	○	○	○
経済学特殊講義2			2	○	○	○	
経済学特殊講義3			2	○	○	○	
経済学特殊講義4			2	○	○	○	
経済学特殊講義5			2	○	○	○	
経済学特殊講義6			2	○	○	○	
経済学特殊講義7			2	○	○	○	
経済学特殊講義8			2	○	○	○	
経済学特殊講義9			2	○	○	○	
経済学特殊講義10			2	○	○	○	
法学・政治学	民法(総則)		2	○	○	○	
	民法(物権法)		2	○	○	○	
	商法(総則・商行為)		2	○	○	○	
	会社法1		2	○	○	○	
	市場競争法		2	○	○	○	
	行政法		2	○	○	○	
	政治学概論1		2	○	○	○	科
	政治学概論2		2	○	○	○	科
	法学・政治学特殊講義		2	○	○	○	
	税法1		2		○	○	
	税法2		2		○	○	
	労働法		2		○	○	
社会保障法		2		○	○		

経営学	初級簿記			2		○	○	○	科	
	企業経済論1			2		○	○	○		
	企業経済論2			2		○	○	○		
	証券経済論1			2		○	○	○		
	証券経済論2			2		○	○	○		
	ビジネス英語1			2		○	○	○		
	ビジネス英語2			2		○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション1			2		○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション2			2		○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション			2		○	○	○		
	中国語ビジネスコミュニケーション1			2		○	○	○		
	中国語ビジネスコミュニケーション2			2		○	○	○		
	経営学概論1			2		○	○	○	科	
	経営学概論2			2		○	○	○	科	
	現代企業論1			2		○	○	○		
	現代企業論2			2		○	○	○		
	マーケティング論1			2		○	○	○		
	マーケティング論2			2		○	○	○		
	会計学原理1			2		○	○	○	科	
	会計学原理2			2		○	○	○	科	
	貿易実務1			2			○	○		
	貿易実務2			2			○	○		
	国際取引論1			2			○	○		
	国際取引論2			2			○	○		
	国際経営論			2			○	○		
	資格・キャリア	教職ゼミ I			2		○	○	○	
		日本史概説1			2		○	○	○	科
		日本史概説2			2		○	○	○	科
		西洋史概説1			2		○	○	○	科
		西洋史概説2			2		○	○	○	科
		東洋史概説1			2		○	○	○	科
		東洋史概説2			2		○	○	○	科
		職業指導論			2		○	○	○	科
教職ゼミ II				2			○	○		
国際		国際特別演習			4		○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
	国際表現演習			4		○	○	○		

※ 教職欄は、教職課程に関する科目であることを表しており、「職」は教職に関する科目、「又」は教職または教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。

- ・「経済数学」を修得した場合、「経済数学1」および「経済数学2」を履修することはできない。
- ・「日本経済史1」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「日本経済史2」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史1」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史2」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「オーストラリア経済論」を修得した場合、「オーストラリア経済論1」および「オーストラリア経済論2」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論1」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論2」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論1」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論2」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論1」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論2」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論1」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論2」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション1」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション2」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。

【経済学科履修細則一部変更】2015年度入学生に適用

(略)

履修単位制限

- 6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	22	22	22	22	22	22	22

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限は次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 7 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

プログラム演習Ⅰ履修条件

- 2 プログラム演習Ⅰ-1、プログラム演習Ⅰ-2は第3年次の配当とし、プログラム基礎演習1、プログラム基礎演習2を履修済みでなければ履修できない。ただし、2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

プログラム演習Ⅱ履修条件

- 3 プログラム演習Ⅱ-1、プログラム演習Ⅱ-2は第4年次の配当とし、プログラム演習Ⅰ-1、プログラム演習Ⅰ-2を履修済みでなければ履修できない。ただし、2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

(略)

2016年度より変更があった部分

【経済学部規程一部変更】2008～2015 年度入学生に適用

第 32 条 本大学の第 3 年次へ編入学又は他大学から本大学に転学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とし、選考の上、これを許可する。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に 2 年以上在学し、所定の単位を修得した者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が 2 年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (6) 高等学校等の専攻科のうち、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者(学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

2

(略)

2 学科科目

(1) 経済学科

必修	12単位
選択必修	20単位以上
選択	選択必修及び選択を合わせて52単位以上
卒業必要 単位数	64単位以上

履修 区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職	備考
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修	経済学	プログラム基礎演習 1	2				○	○	○	科	12単位
		プログラム基礎演習2	2				○	○	○	科	
		プログラム演習 I-1	2						○	○	
		プログラム演習 I-2	2						○	○	
		プログラム演習 II-1	2							○	
		プログラム演習 II-2	2							○	
選択必修	経済学	基礎経済学		2		○				科	20 単 位 以 上 基礎経済学は1年次全 員履修すること
		経済史1		2		○	○	○	○	科	
		経済史2		2		○	○	○	○	科	
		社会思想史		4		○	○	○	○	科	
		国際経済学		4			○	○	○	科	
		ミクロ経済学		4			○	○	○		
		マクロ経済学		4			○	○	○		
		経済学史		4			○	○	○		
	計量経済学		4					○	○		
	経済政策	ヒューマンエコノミー概論1		2		○	○	○	○		
		ヒューマンエコノミー概論2		2		○	○	○	○		
		租税論		4		○	○	○	○	科	
		経済政策		4			○	○	○		
		日本経済論1		2			○	○	○	科	
		日本経済論2		2			○	○	○	科	
		財政学		4			○	○	○	科	
		公共経済学		4			○	○	○	科	
		金融論		4			○	○	○	科	
		労働経済学1		2					○	○	
	労働経済学2		2					○	○		
	数理・情報	経済数学		4		○	○	○	○	科	
経済統計学			4			○	○	○			
経営学	入門簿記		2			○	○	○	科		
	国際	国際コミュニケーション論		4			○	○	○		
国際事情			4			○	○	○			
選択	経済理論・経済史	経済原論			4		○	○	○	科	選択必修及び選択合 わせて52単位以上
		外書講読1			2		○	○	○		
		外書講読2			2		○	○	○		
		日本経済史1			2		○	○	○	科	
		日本経済史2			2		○	○	○	科	
		外国経済史1			2		○	○	○	科	
		外国経済史2			2		○	○	○	科	
		経済変動論1			2				○	○	
		経済変動論2			2				○	○	
		経済成長論1			2				○	○	
		経済成長論2			2				○	○	
		行動経済学1			2				○	○	
		行動経済学2			2				○	○	
選択										選択必修及び選択合 わせて52単位以上	

履修 区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職	備考
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
選択	経済政策	地域と暮らし1			2	○	○	○	○		
		地域と暮らし2			2	○	○	○	○		
		幸福の経済学1			2		○	○	○		
		幸福の経済学2			2		○	○	○		
		公共政策1			2		○	○	○		
		公共政策2			2		○	○	○		
		国際貿易論			4		○	○	○		
		労使関係論1			2		○	○	○		
		労使関係論2			2		○	○	○		
		国際金融論1			2		○	○	○		
		国際金融論2			2		○	○	○		
		金融ビジネス論1			2		○	○	○		
		金融ビジネス論2			2		○	○	○		
		リスクと向き合う経済学			2		○	○	○		
		社会保障			4		○	○	○		
		オーストラリア経済論			4		○	○	○		科
		アメリカ経済論1			2		○	○	○		
		アメリカ経済論2			2		○	○	○		
		ヨーロッパ経済論1			2		○	○	○		
		ヨーロッパ経済論2			2		○	○	○		
		アジア経済論1			2		○	○	○		
		アジア経済論2			2		○	○	○		
		海外事情1			2		○	○	○		
		海外事情2			2		○	○	○		
		貿易政策1			2		○	○	○		
		貿易政策2			2		○	○	○		
		食料経済論1			2		○	○	○		
		食料経済論2			2		○	○	○		
		環境経済学1			2		○	○	○		
		環境経済学2			2		○	○	○		
		アジア論1			2		○	○	○		
		アジア論2			2		○	○	○		
		地域経済論1			2		○	○	○		
		地域経済論2			2		○	○	○		
		産業組織論1			2			○	○		
		産業組織論2			2			○	○		
		経済体制論1			2			○	○		
		経済体制論2			2			○	○		
		地方財政論			4			○	○		科
		ファイナンス論1			2			○	○		科
		ファイナンス論2			2			○	○		科
		経済地理1			2			○	○		科
		経済地理2			2			○	○		科
		開発経済学1			2			○	○		
		開発経済学2			2			○	○		
地球環境論1			2			○	○				
地球環境論2			2			○	○				
グローバル人材の経済学1			2			○	○				
グローバル人材の経済学2			2			○	○				
福祉社会論1			2			○	○				
福祉社会論2			2			○	○				
数理・情報		経済情報処理			4	○	○	○			

選択必修及び選択合わせて52単位以上

履修 区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職	備考
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
選択		経済シミュレーションゲーム			2		○	○	○		
		統計学総論1			2		○	○	○	科	
		統計学総論2			2		○	○	○	科	
		ソフトウェア論			4		○	○	○		
		オペレーションズ・リサーチ1			2			○	○		
		オペレーションズ・リサーチ2			2			○	○		
		意思決定論1			2			○	○		
		意思決定論2			2			○	○		
		経営情報論1			2				○	○	
		経営情報論2			2				○	○	
	特殊講義	経済学特殊講義1			2		○	○	○		
		経済学特殊講義2			2		○	○	○		
		経済学特殊講義3			2		○	○	○		
		経済学特殊講義4			2		○	○	○		
		経済学特殊講義5			2		○	○	○		
		経済学特殊講義6			2		○	○	○		
		経済学特殊講義7			2		○	○	○		
		経済学特殊講義8			2		○	○	○		
		経済学特殊講義9			2		○	○	○		
		経済学特殊講義10			2		○	○	○		
	法学・政治学	民法(総則)			2		○	○	○		
		民法(物権法)			2		○	○	○		
		商法(総則・商行為)			2		○	○	○		
		会社法1			2		○	○	○		
		市場競争法			2		○	○	○		
		行政法			2		○	○	○		
		政治学概論1			2		○	○	○	科	
		政治学概論2			2		○	○	○	科	
		税法1			2			○	○		
		税法2			2			○	○		
	経営学	労働法			2			○	○		
		社会保障法			2			○	○		
		初級簿記			2		○	○	○	科	
		企業経済論1			2		○	○	○		
		企業経済論2			2		○	○	○		
		証券経済論1			2		○	○	○		
		証券経済論2			2		○	○	○		
		ビジネス英語1			2		○	○	○		
		ビジネス英語2			2		○	○	○		
		国際ビジネスコミュニケーション1			2		○	○	○		
		国際ビジネスコミュニケーション2			2		○	○	○		
		中国語ビジネスコミュニケーション1			2		○	○	○		
中国語ビジネスコミュニケーション2			2		○	○	○				
経営学概論1			2		○	○	○	科			
経営学概論2			2		○	○	○	科			
現代企業論1			2		○	○	○				
現代企業論2			2		○	○	○				
マーケティング論1			2		○	○	○				

選択必修及び選択合わせて52単位以上

履修 区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職	備考
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
		マーケティング論2			2		○	○	○		
		会計学原理1			2		○	○	○	科	
		会計学原理2			2		○	○	○	科	
		貿易実務1			2			○	○		
		貿易実務2			2			○	○		
		国際取引論1			2			○	○		
		国際取引論2			2			○	○		
		国際経営論			2			○	○		
	資格・ キャリア	教職ゼミ I			2		○	○	○		
		日本史概説1			2		○	○	○	科	
		日本史概説2			2		○	○	○	科	
		西洋史概説1			2		○	○	○	科	
		西洋史概説2			2		○	○	○	科	
		東洋史概説1			2		○	○	○	科	
		東洋史概説2			2		○	○	○	科	
		職業指導論			2		○	○	○	科	
		教職ゼミ II			2			○	○		
	国際	国際特別演習			4		○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
		国際表現演習			4		○	○	○		

※ 教職欄は、教職課程に関する科目であることを表しており、「職」は教職に関する科目、「又」は教職または教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

【経済学科履修細則】2015年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

プログラム

3 将来の職業選択、または興味・関心のある学修を進めるため、次の6つのプログラムを置き、その構成科目を次のとおり定める。

プログラム名	授業科目
公共サービス プログラム P S P	(選択必修) ミクロ経済学、マクロ経済学、金融論、財政学、 経済政策、公共経済学、租税論 (選択) 地方財政論、民法(総則)、 <u>行政法</u> 、税法1、税法2、 <u>労働法</u> 、社会保障、公共政策1、公共政策2、経済原論、地域 経済論1、地域経済論2、環境経済学1、環境経済学2
金融ビジネス プログラム F B P	(選択必修) 国際経済学、金融論、租税論、ミクロ経済学、マ クロ経済学、入門簿記、経済政策、計量経済学、経済数学 (選択) ファイナンス論1、ファイナンス論2、国際金融論 1、国際金融論2、証券経済論1、証券経済論2、初級簿記、経 済変動論1、経済変動論2、経済成長論1、経済成長論2、企業 経済論1、企業経済論2、金融ビジネス論1、金融ビジネス論 2、行動経済学1、行動経済学2、リスクと向き合う経済学、統 計学総論1、統計学総論2、経営情報論1、経営情報論2、税法 1、税法2、会計学原理1、会計学原理2
ビジネスリーダー プログラム B L P	(選択必修) ミクロ経済学、日本経済論1、日本経済論2、経 済政策、労働経済学1、労働経済学2、経済統計学 (選択) 経済変動論1、経済変動論2、経済成長論1、経済成 長論2、産業組織論1、産業組織論2、企業経済論1、企業経済 論2、経営学概論1、経営学概論2、 <u>現代企業論1</u> 、 <u>現代企業論</u> <u>2</u> 、日本経済史1、日本経済史2、マーケティング論1、マーケ ティング論2、経営情報論1、経営情報論2、経済シミュレー ションゲーム
グローバルビジネ ス プログラム G B P	(選択必修) 国際経済学、マクロ経済学、入門簿記、経済史 1、経済史2、経済政策、公共経済学、経済学史1、経済学史 2、社会思想史、日本経済論1、日本経済論2 (選択) アメリカ経済論1、アメリカ経済論2、ヨーロッパ経 済論1、ヨーロッパ経済論2、アジア経済論1、アジア経済論 2、オーストラリア経済論、海外事情1、海外事情2、国際取引

	論 1、国際取引論 2、国際貿易論、国際金融論 1、国際金融論 2、グローバル人材の経済学 1、グローバル人材の経済学 2、貿易実務 1、貿易実務 2、外書講読 1、外書講読 2、ビジネス英語 1、ビジネス英語 2、中国語ビジネスコミュニケーション 1、中国語ビジネスコミュニケーション 2、開発経済学 1、開発経済学 2、貿易政策 1、貿易政策 2
環境経済 プログラム E E P	(選択必修) 公共経済学、経済政策、ヒューマンエコノミー概論 1、ヒューマンエコノミー概論 2、日本経済論 1、日本経済論 2、経済数学、ミクロ経済学、計量経済学、入門簿記 (選択) 公共政策 1、公共政策 2、環境経済学 1、環境経済学 2、地球環境論 1、地球環境論 2、地域と暮らし 1、地域と暮らし 2、食料経済論 1、食料経済論 2、オーストラリア経済論、マーケティング論 1、マーケティング論 2、統計学総論 1、統計学総論 2、経営学概論 1、経営学概論 2、地方財政論
生活経済 プログラム L E P	(選択必修) ヒューマンエコノミー概論 1、ヒューマンエコノミー概論 2、租税論、経済政策、日本経済論 1、日本経済論 2、労働経済学 1、労働経済学 2、社会思想史、ミクロ経済学、入門簿記、経済統計学 (選択) 地域と暮らし 1、地域と暮らし 2、社会保障、福祉社会論 1、福祉社会論 2、環境経済学 1、環境経済学 2、労使関係論 1、労使関係論 2、幸福の経済学 1、幸福の経済学 2、リスクと向き合う経済学、民法 (総則)、マーケティング論 1、マーケティング論 2、税法 1、税法 2
プログラム基礎演習 (略)	

2015年度より変更があった部分

【経済学部規程一部変更】 2015年度入学生に適用

(入学)

(略)

第 30 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。

2 検定の方法は、別に定める。

3 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(休学)

第 34 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

(懲戒)

第 58 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

規程等

「経営学部関連規程等」

2017年度より変更があった部分

【経営学部規定一部変更】 2015年度入学生に適用

別表 I (第9条関係)

1 基盤教育科目

基盤教育科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

【経営学科履修細則一部変更】 2015年度入学生に適用

I 一般的事項

発展演習の履修資格

4 発展演習 1 及び発展演習 2 を履修するためには、次の条件を充足していなければならない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

(1) 基礎演習 1 又は基礎演習 2 のいずれか 2 単位を修得していること。

(2) 上記 (1) の基礎演習 1 又は基礎演習 2 を含めて、卒業要件単位数が 44 単位以上修得済であること。

卒業演習の履修資格

5 卒業演習 1 及び卒業演習 2 は、第 4 年次の配当とし、基礎演習 1 及び基礎演習 2 合わせて 4 単位を修得し、発展演習 1 又は発展演習 2 のいずれか 2 単位を修得しなければ履修できない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

履修単位制限

6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

7 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。
ただし前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として
選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の
上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単
位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を
取り消された者には、適用しない。

前学期の GPA	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00 以上
制限単位数	26 単位	28 単位	30 単位

(略)

【マーケティング学科履修細則一部変更】 2015年度入学生に適用

I 一般的事項

発展演習の履修資格

4 発展演習 1 及び発展演習 2 を履修するためには、次の条件を充足していなければならない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

(1) 基礎演習 1 又は基礎演習 2 のいずれか 2 単位を修得していること。

(2) 上記 (1) の基礎演習 1 又は基礎演習 2 を含めて、卒業要件単位数が 44 単位以上修得済であること。

卒業演習の履修資格

5 卒業演習 1 及び卒業演習 2 は、第 4 年次の配当とし、基礎演習 1 及び基礎演習 2 合わせて 4 単位を修得し、発展演習 1 又は発展演習 2 のいずれか 2 単位を修得しなければ履修できない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

履修単位制限

6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

7 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。
ただし前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として
選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の
上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単
位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を
取り消された者には、適用しない。

前学期の GPA	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00 以上
制限単位数	26 単位	28 単位	30 単位

(略)

2016年度より変更があった部分

【経営学部規程一部変更】 2015年度入学生に適用

(略)

第3条 本学部の各学科の学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	編入学定員	収容定員
経営学科	220名	7名	894名
マーケティング学科	220名	6名	892名
計	440名	13名	1,786名

(略)

第32条 本大学の第3年次へ編入学又は他大学から本大学に転学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とし、選考の上、これを許可する。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者
- (5) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (6) 高等学校等の専攻科のうち、文部科学大臣が定める基準を満たすものを修了した者(学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

2

(略)

別表I (第9条関係)

1 基盤教育科目

(略)

(3) キャリア科目群

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
(略)							
インターンシップ実習4		1	○	○	○	○	-----
キャリア数学1		2		○	○	○	
キャリア数学2		2		○	○	○	
文章論演習		2		○	○	○	
キャリア英語		2		○	○	○	
社会科学概論1		2		○	○	○	
キャリア形成論1		2		○			
(略)							

(4) 総合科目群

分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
		必修	選択	1	2	3	4	
追大 UI 科目	追手門 UI 論		2	○	○	○	○	2 単位以上
	笑学入門		2	○	○	○	○	
	北摂を学ぶ		2	○	○	○	○	
	(略)							

(略)

2 学科科目

(1) 経営学科

(略)

(2) マーケティング学科

(略)

分野	授業科目	単位数			配当年次				教職※	備考
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
(略)										
学科基礎B	(略)									
	マーケティング論 2		2			○	○	○	科	
	流通システム論 1		2			○	○	○	科	
	流通システム論 2		2			○	○	○	科	
	情報科学概論 1		2			○	○	○	科	
(略)										
(略)										

(略)

2015年度より変更があった部分

【経営学部規程一部変更】 2015年度入学生に適用

(入学)

(略)

第 30 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。 検定の方法は、別に定める。

2 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(休学)

第 34 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

(懲戒)

第 58 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

規程等

「地域創造学部関連規程等」

2017年度より変更があった部分

【地域創造学科履修細則一部変更】2015年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

- 4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年		2年		3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

なお、卒業論文は履修制限単位数に 含まない。

- 5) 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

2016年度より変更があった部分

【地域創造学部規程一部変更】2015年度入学生に適用

(略)

第10条 学科科目は、必修科目及び選択科目（選択必修科目、選択科目）に分ける。
 なお、地域創造学科における学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
地域創造学科	72 単位

2 地域創造学科における学科科目及び単位数は、別表 I のとおりとする。

(略)

別表 I 地域創造学科開講科目表

履修区分	分野	授業科目	単位			配当年次				教職 ※	要件
			必修	選択 必修	選択	1	2	3	4		
必修	学科科目 地域創造実践演習	地域創造実践演習(入門)	2			○					14単位
		地域創造実践演習(基礎)1	2				○				
		地域創造実践演習(基礎)2	2				○				
		地域創造実践演習(展開)1	2					○			
		地域創造実践演習(展開)2	2						○		
		地域創造実践演習(発展)	2							○	
		地域創造実践演習(総括)	2							○	
		卒業論文	卒業論文	4						○	
全員履修	新入生演習	新入生演習			2	○					
		日本語表現			2	○	○	○	○		
		キャリアデザイン論			2	○					
選択	初年次科目	教養ゼミ1、教養ゼミ2									
選択必修	外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語								学科履修細則参照	
選択	体育科目	実技・講義・ネイチャアクティビティ								学科履修細則参照	
選択必修	基盤教育科目	教養科目	オープンゼミ・人文系・社会系・自然系・日本事情分野								
		キャリア科目									4単位以上選択必修
		総合科目	追大UI科目・国際交流科目・スポーツキャリア科目 国際交流科目、放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合、大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合は、各々最大4単位までを卒業要件単位として認める。								追大UI科目から8単位以上選択必修

必修	学 科 目 群	基 礎 科 目 群	地域創造学入門	2			○	○	○	○		地域創造学入門、 男女共同参画社会論、 少子高齢化社会論、 社会論を含めて 16単位以上選択 必修
			男女共同参画社会論	2				○	○	○		
選択必修	学 科 目 群	基 礎 科 目 群	少子高齢化社会論	2				○	○	○	科	
			経営学基礎論	2			○	○	○	○		
			会計学基礎論	2			○	○	○	○		
			地域経済・事業創造論	2				○	○	○		
			観光学入門	2				○	○	○		
			まちづくり・地域活性化論	2				○	○	○		
			地域文化・都市文化論	2				○	○	○	科	
			地誌学1	2				○	○	○	科	
			地誌学2	2				○	○	○	科	
			現代社会論	2				○	○	○	科	
			グローバル社会論	2				○	○	○		
			質的調査法	2				○	○	○		
必修	学 科 目 群	地 域 経 済 ・ 事 業 創 造 コ ー ス 目 群	地方行政論	2				○	○	○	科	1コースを選択し、 2年次以降に必修 4単位を含めて12 単位以上、それ以 外のコースについ ては、3年次以降 に各コースの必修 4単位を含めて8単 位以上(合計16単 位以上)を修得
			自治体政策論	2				○	○	○	科	
選択必修	学 科 目 群	地 域 経 済 ・ 事 業 創 造 コ ー ス 目 群	地方公務員論	2				○	○	○		
			経済原論	4				○	○	○	科	
			地域経済基礎論1	2				○	○	○		
			地域経済基礎論2	2				○	○	○		
			地域政策論	2				○	○	○		
			地域社会論	2				○	○	○	科	
			公益事業論	2				○	○	○		
			地域開発論	2				○	○	○		
			地方財政論	2				○	○	○		
			地場産業論	2				○	○	○		
			中小企業論	2				○	○	○		
			事業承継論	2				○	○	○		
			技能承継論	2				○	○	○		
			事業創造論	2				○	○	○		
			ベンチャー経営論	2				○	○	○		
			社会調査法	2				○	○	○		
			市場調査法	2				○	○	○		
			地域経済・事業創造特殊講義1	2				○	○	○		
			地域経済・事業創造特殊講義2	2				○	○	○		

必修	学科科目	コース科目群	観光産業論	2				○	○	○	科
			観光資源論	2				○	○	○	科
選択必修	学科科目	観光・まちづくりコース科目群	観光立国論	2				○	○	○	
			観光政策論	2				○	○	○	
			ホスピタリティ論	2				○	○	○	
			観光マーケティング論	2				○	○	○	
			観光交流論	2				○	○	○	
			人文地理学概説1	2				○	○	○	科
			人文地理学概説2	2				○	○	○	科
			生活デザイン論	2				○	○	○	
			都市デザイン論	2				○	○	○	
			地域と暮らし	2				○	○	○	
			地域交通・都市交通論	2				○	○	○	
			環境経営論	2				○	○	○	科
			コミュニティ論	2				○	○	○	
			NPO論	2				○	○	○	
			障害者福祉論	2				○	○	○	
			地域福祉論	2				○	○	○	
			観光・まちづくり特殊講義1	2				○	○		
			観光・まちづくり特殊講義2	2				○	○		
必修	学科科目	コース科目群	地域文化史研究	2				○	○	○	科
			文化遺産論	2				○	○	○	科
選択必修	学科科目	都市文化・文化創造コース科目群	大阪文化論	2				○	○	○	
			大阪学・上町学	2				○	○	○	
			現代文化論	2				○	○	○	科
			伝統文化論	2				○	○	○	
			生活文化論	2				○	○	○	
			宗教文化論	2				○	○	○	科
			企業文化論	2				○	○	○	
			食文化論	2				○	○	○	
			情報文化論	2				○	○	○	
			福祉文化論	2				○	○	○	
			景観保全論	2				○	○	○	
			文化行政論	2				○	○	○	
			文化プロデュース論	2				○	○	○	
			地域メディア論	2				○	○	○	
			地域イベント論	2				○	○	○	
			都市文化・文化創造特殊講義1	2				○	○		
			都市文化・文化創造特殊講義2	2				○	○		

選択必修	学科科目	隣接・関連科目群	講義科目群	国際地域開発論	2		○	○	○	10単位以上、選択必修	
				国際経済学	4		○	○	○		科
				中小企業経営論1	2		○	○	○		
				中小企業経営論2	2		○	○	○		
				ニューツーリズム論	2		○	○	○		
				観光行動論	2		○	○	○		
				都市・地域安全論	2		○	○	○		
				災害復興論	2		○	○	○		
				日本史概説1	2		○	○	○		科
				日本史概説2	2		○	○	○		科
				茶道論・華道論	2		○	○	○		
				北摂学	2		○	○	○		
				関西文化論	2		○	○	○		
				地球環境論	2		○	○	○		科
				政治学概論1	2		○	○	○		科
				政治学概論2	2		○	○	○		科
				社会学概論1	2		○	○	○		科
				社会学概論2	2		○	○	○		科
				文化人類学	2		○	○			
				選択	学科科目	隣接・関連科目群	講義科目群	社会調査文献研究	2		
基礎社会統計	2		○					○	○		
社会統計応用	2		○					○	○		
ベンチャーファイナンス論1	2		○					○	○		
ベンチャーファイナンス論2	2		○					○	○		
リーダーシップ論	2		○					○	○		
サブカルチャー論	2		○					○	○		
都市文化論	2		○					○			
福祉社会論1	2		○					○			
福祉社会論2	2		○					○			
日本の芸能と文学1	2		○					○			
日本の芸能と文学2	2		○					○			
観光英語1	2		○					○			
観光英語2	2		○					○			
哲学概論1	2		○					○	○	科	
哲学概論2	2		○					○	○	科	
倫理学概論1	2		○					○	○	科	
倫理学概論2	2		○					○	○	科	
西洋史概説1	2		○					○	○	科	
西洋史概説2	2		○					○	○	科	
東洋史概説1	2		○					○	○	科	
東洋史概説2	2		○					○	○	科	
自然地理学概説1	2		○					○	○	科	
自然地理学概説2	2		○					○	○	科	
法学概論1	2		○					○	○	科	
法学概論2	2		○					○	○	科	
国際事情	4		○					○	○		
国際コミュニケーション論	4		○					○	○		
国際表現演習	4		○	○	○						
国際特別演習	4		○	○	○						

			日本文化実習			2	○	○	○	
			祭り研究			2		○	○	
			商店街研究			2		○	○	
			観光地研究			2		○	○	科
			災害復興研究			2		○	○	
			社会調査実習1			2		○	○	
			社会調査実習2			2		○	○	

※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

【地域創造学科履修細則一部変更】2015年度入学生に適用

(略)

Ⅱ 基盤教育科目

1 初年次科目

- 1) 「新入生演習」「日本語表現」は、1年次に全員履修するものとする。

(略)

Ⅲ 学科科目

- 1) 地域創造学科における学科科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分かれる。
また、学科科目には、学年指定のある科目があるので、地域創造学部規程の別表Ⅰを参照し、所定の方法により単位を修得しなければならない
- 2) 地域創造学科が開設する科目については、72単位以上を修得しなければならない。
- 3) 選択科目については、地域創造学部規程の別表Ⅰを参照すること。また、地域創造学科が開設する学科科目のうち、最低修得単位数(72単位)を超えて修得した科目の単位は、卒業要件単位として認める。

(略)

規程等

「社会学部関連規程等」

2017年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】2015年度入学生に適用

別表 I
社会学科科目表

履修区分	科目	授業科目	単位			配当年次				要件		
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
(略)												
選択必修	学科科目	現代文化群	メディア文化論		2			○	○	○		
			サブカルチャー論		2			○	○	○		
			映像文化論		2			○	○	○		
			路上観察学		2			○	○	○		
			消費文化論		2			○	○	○		
			ポップカルチャー		2			○	○	○		
			文化記号論		2			○	○	○		
			スポーツ社会学		2			○	○	○		
			文化社会学特殊講義1		2			○	○	○		
			文化社会学特殊講義2		2			○	○	○		
			現代文化論		2					○	○	
			メディア環境論		2					○	○	
			モノと技術の社会学		2					○	○	
			アート環境論		2					○	○	
			都市文化論		2					○	○	
			知識社会学		2					○	○	
			情報社会学		2					○	○	○
			流行の社会学		2					○	○	○
			現代メディア論		2					○	○	○
			マスコミ論		2					○	○	○
			メディア・文化芸術演習1		2					○	○	○
			メディア・文化芸術演習2		2					○	○	○
			芸術と社会		2					○	○	○
			上方芸術論		2					○	○	○
			社会と健康		2					○	○	○
			スポーツ・健康演習1		2					○	○	○
			スポーツ・健康演習2		2					○	○	○
スポーツ文化論		2					○	○	○			
食と農の社会学		2					○	○	○			

人間関係群	ライフスタイル論	2			○	○	○
	コミュニケーションの社会学	2			○	○	○
	逸脱論	2			○	○	○
	家族文化論	2			○	○	○
	家族社会学	2			○	○	○
	ライフコース論	2			○	○	○
	自己と感情の社会学	2			○	○	○
	人間関係論	2			○	○	○
	人間学	2			○	○	○
	障害学	2			○	○	○
	人権教育論	2			○	○	○
	社会福祉学特殊講義1	2			○	○	○
	社会福祉学特殊講義2	2			○	○	○
	社会的行為論	2				○	○
	身体文化論	2				○	○
	ジェンダーの社会学	2				○	○
	エイジングの社会学	2				○	○
	支配と抵抗の社会学	2				○	○
	仕事と遊びの社会学	2				○	○
	人間形成論	2				○	○
	児童福祉論	2				○	○
	老人福祉論	2				○	○
	家族問題論	2			○	○	○
	人権問題論	2			○	○	○
	病いの社会学	2			○	○	○
	身体表現論	2			○	○	○
	コミュニケーション・表現演習1	2			○	○	○
コミュニケーション・表現演習2	2			○	○	○	
演劇論	2			○	○	○	
社会環境群	近代性の社会学	2			○	○	○
	宗教文化論	2			○	○	○
	学校の社会学	2			○	○	○
	福祉文化論	2			○	○	○
	地域福祉論	2			○	○	○
	環境倫理学	2			○	○	○
	社会問題論	2			○	○	○
	現代社会特殊講義1	2			○	○	○
	現代社会特殊講義2	2			○	○	○
	現代社会論	2				○	○
	組織論	2				○	○
	ソーシャルワーク論	2				○	○
	境界性の社会学	2				○	○
	場所と移動の社会学	2				○	○
	グローバル化の社会学	2				○	○
	文化人類学	2				○	○
	歴史社会学	2				○	○
	基礎生態学	2				○	○
	生態・環境論	2				○	○
	グローバル社会論	2			○	○	○
	現代社会論演習1	2			○	○	○
	現代社会論演習2	2			○	○	○
	科学技術論	2			○	○	○
	都市社会論	2			○	○	○
	消費社会論	2			○	○	○
	福祉社会学	2			○	○	○
	社会問題リサーチ演習1	2			○	○	○
社会問題リサーチ演習2	2			○	○	○	

(略)

【社会学科履修細則一部変更】 2015年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

- 4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年		2年		3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 5) 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

2016年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】2015年度入学生に適用

(略)

第8条 社会学科の卒業に必要な単位数は、次表のとおりである。

学科	単位数
社会学科	124 単位

なお、基盤教育科目及び学科科目の最低修得単位数は、社会学部規程に定める。

(略)

第10条 学科科目は、必修科目及び選択科目（選択必修科目、選択科目）に分ける。なお、社会学科における学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
社会学科	66 単位

2 社会学科における学科科目及び単位数は、社会学部規程に定める。

(略)

別表 I 社会学科 開講科目表

履修区分	科目	授業科目	単位	配当年次				教職※	備考	
				1	2	3	4			
必修	学科 科目	コミュニケーション演習	2	○					新入生演習と同じクラスを選択する。	
		基礎演習1	2		○				指定クラス	
		基礎演習2	2		○					
		専門演習1	2				○		指定クラス	
		専門演習2	2				○			
		卒論演習1	2					○	指定クラス	
		卒論演習2	2					○		
論文	卒業論文	6					○			
全員履修	初年次科目	新入生演習は1年次に全員が履修すること。							10単位以上	
選択必修	基盤科目群	外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語の中から、4単位以上を修得すること。							
		体育科目	2単位以上を修得すること。							
	教養科目群								6単位以上	
	キャリア科目群	キャリアデザイン論は1年次に全員が履修すること。また、キャリア形成論1・キャリア形成論2は2年次に全員が履修すること。							4単位以上	
	総合科目群	追大UI科目								2単位以上
	スポーツ									
	キャリア科目									
		国際交流科目								
上記の基盤教育科目中から30単位以上修得すること										

選 学 必 修 目	入門科目	文化と社会1	2	○	○	○	○	○		
		文化と社会2	2	○	○	○	○	○		
		現代文化の諸相	2	○	○	○	○	○		
		モードとスタイル	2	○	○	○	○	○		
		コミュニケーション論	2	○	○	○	○	○		
		社会のイメージ	2	○	○	○	○	○		
		文化社会学演習	2	○	○	○	○	○		
		社会学演習	2	○	○	○	○	○		
		人間学演習1	2	○	○	○	○	○		
		人間学演習2	2	○	○	○	○	○		
		生態学フィールドワーク1	2	○	○	○	○	○		
		生態学フィールドワーク2	2	○	○	○	○	○		
		自主企画演習1	2	○	○	○	○	○		
		自主企画演習2	2	○	○	○	○	○		
		理論科目	社会学的想像力	2	○	○	○	○		
	社会的リアリティー		2	○	○	○	○			
	パドックスの社会学		2	○	○	○	○			
	社会学史		2	○	○	○	○	科		
	社会学理論		2	○	○	○	○	科		
	メディア文化論		2	○	○	○	○	科		
	現代文化群	サブカルチャー論	2	○	○	○	○			
		映像文化論	2	○	○	○	○			
		路上観察学	2	○	○	○	○			
		消費文化論	2	○	○	○	○			
		ポップカルチャー	2	○	○	○	○			
		文化記号論	2	○	○	○	○			
		スポーツ社会学	2	○	○	○	○	科		
		文化社会学特殊講義1	2	○	○	○	○			
		文化社会学特殊講義2	2	○	○	○	○			
		現代文化論	2	○	○	○	○	科		
		メディア環境論	2	○	○	○	○			
		モノと技術の社会学	2	○	○	○	○			
		アート環境論	2	○	○	○	○			
		都市文化論	2	○	○	○	○	科		
		知識社会学	2	○	○	○	○	科		
	人間関係群	ライフスタイル論	2	○	○	○	○			
		コミュニケーションの社会学	2	○	○	○	○	科		
		逸脱論	2	○	○	○	○			
		家族文化論	2	○	○	○	○			
		家族社会学	2	○	○	○	○	科		
		ライフコース論	2	○	○	○	○			
		自己と感情の社会学	2	○	○	○	○			
		人間関係論	2	○	○	○	○			
		人間学	2	○	○	○	○			
		障害学	2	○	○	○	○			
人権教育論		2	○	○	○	○				
社会福祉学特殊講義1		2	○	○	○	○				
社会福祉学特殊講義2		2	○	○	○	○				
社会的行為論		2	○	○	○	○				
身体文化論		2	○	○	○	○				
ジェンダーの社会学		2	○	○	○	○	科			
エイジングの社会学		2	○	○	○	○				
支配と抵抗の社会学		2	○	○	○	○				
仕事と遊びの社会学		2	○	○	○	○				
人間形成論		2	○	○	○	○				
児童福祉論	2	○	○	○	○					
老人福祉論	2	○	○	○	○					
社会環境群	近代性の社会学	2	○	○	○	○	科			
	宗教文化論	2	○	○	○	○				
	福祉の社会学	2	○	○	○	○				
	福祉文化論	2	○	○	○	○				
	地域福祉論	2	○	○	○	○				
	環境倫理学	2	○	○	○	○	科			
	社会問題論	2	○	○	○	○	文			
	現代社会特殊講義1	2	○	○	○	○				
	現代社会特殊講義2	2	○	○	○	○				
	現代社会論	2	○	○	○	○				
	組織論	2	○	○	○	○				
	ソーシャルワーク論	2	○	○	○	○				
	境界性の社会学	2	○	○	○	○				
	場所と移動の社会学	2	○	○	○	○				
	グローバル化の社会学	2	○	○	○	○				
文化人類学	2	○	○	○	○					
歴史社会学	2	○	○	○	○					
基礎生態学	2	○	○	○	○					
生態・環境論	2	○	○	○	○					
国際	国際コミュニケーション論	4	○	○	○	○				
	国際特別演習	4	○	○	○	○				
	国際事情	4	○	○	○	○				
	国際表現演習	4	○	○	○	○				
上記の科目の中から、46単位以上を修得すること。										
選 学 基 礎 教 育 科 目	基礎科目群 (選択必修科目とする科目を除く)									
	教養科目群 (選択必修科目とする科目を除く)									
	キャリア科目群 (選択必修科目とする科目を除く)									
	総合科目群	選択必修科目とする科目を除き、追大UI科目においては最大8単位までを、スポーツキャリア科目においては全ての単位を、国際交流科目においては最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。								
		社会学概論1	2	○	○	○	○	○	科	
	社会学概論2	2	○	○	○	○	○	科		
	哲学概論1	2	○	○	○	○	○	科		
	哲学概論2	2	○	○	○	○	○	科		
	法律学概論1	2	○	○	○	○	○	科		
	法律学概論2	2	○	○	○	○	○	科		
	社会福祉概論1	2	○	○	○	○	○			
	社会福祉概論2	2	○	○	○	○	○			
	教職ゼミI	2	○	○	○	○	○			
	教職ゼミII	2	○	○	○	○	○			
	認知心理学	2	○	○	○	○	○			
生物行動学	2	○	○	○	○	○				
生涯発達心理学	2	○	○	○	○	○				
教育心理学	2	○	○	○	○	○				
子ども学	2	○	○	○	○	○				
カウンセリング心理学	2	○	○	○	○	○				
家族心理学	2	○	○	○	○	○				
臨床心理学基礎論	2	○	○	○	○	○				
パーソナリティ心理学	2	○	○	○	○	○				
精神医学	2	○	○	○	○	○				
心理療法	2	○	○	○	○	○				
発達障害論	2	○	○	○	○	○				
障害福祉心理学	2	○	○	○	○	○				
介護心理学	2	○	○	○	○	○				
メンタルヘルズ論	2	○	○	○	○	○				
社会心理学	2	○	○	○	○	○				
犯罪心理学	2	○	○	○	○	○				
地球環境論1	2	○	○	○	○	○				
地球環境論2	2	○	○	○	○	○				
1. 上記の単位修得条件を満たした上で、学科科目の修得単位数が66単位以上、かつ修得単位数の合計が124単位以上でなければならない。										
2. 教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「文」は教科又は教職に関する科目、「科」は「教職に関する科目」である。										
免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。										

大学が認めた留学生専修科目

他学部科目

【社会学科履修細則一部変更】2015年度入学生に適用

(略)

II 基盤教育科目

(略)

2 基礎科目群

1) 初年時科目

(A) 基礎科目群のうち、初年次科目の新入生演習は、1年生全員が履修するものとする。修得した単位は、卒業要件単位として認める。

(B) 学科共通履修細則の初年次科目の項を参照すること。

(略)

III 学科科目

1) 社会学科における学科科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分かれる。また、学科科目には、学年指定のある科目があるので、社会学部規程を参照し、所定の方法により単位を修得しなければならない。

(略)

3) 必修科目にはコミュニケーション演習、基礎演習1、基礎演習2、専門演習1、専門演習2、卒論演習1、卒論演習2及び卒業論文がある。

4) 選択必修科目(入門科目、実践科目、理論科目、現代文化群、人間関係群、社会環境群および国際)は、46単位以上を修得しなければならない。科目の配当年次については、社会学部規程を参照すること。

5) 選択科目については、社会学部規程を参照すること。また、社会学科が開設する学科科目のうち、最低修得単位数(66単位)を超えて修得した科目の単位は、卒業要件単位として認める。

(略)

2015年度より変更があった部分

【社会学部規程一部変更】 2015年度入学生に適用

(入学)

(略)

第 28 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。 検定の方法は、別に定める。

2 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(休学)

第 34 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

(懲戒)

第 58 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

規程等

「心理学部関連規程等」

2017年度より変更があった部分

【心理学部規程一部変更】2015年度入学生に適用

別表I 心理学部心理学科開講科目表 [2015年度入学生に適用]

履修区分	分野	旧授業科目	単位		配当年次				教職※	要件	
			必修	選択	1	2	3	4			
(略)											
学 選	総合科目	心理学の総合的理解	2		○	○	○	○		2単位以上	
		心理学総合科目1	2			○	○	○			
		心理学総合科目2	2			○	○	○			
		心理学総合科目	2			○	○	○			
	(略)										
	心理学系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門	2			○	○	○	○		14単位以上
		生涯発達心理学	2			○	○	○			
		教育心理学	2			○	○	○	職		
		子ども心理学	2			○	○	○			
		カウンセリング心理学	2			○	○	○			
		家族心理学	2			○	○	○			
		比較心理学	2			○	○	○			
	(略)										
	科 択	演習系	感覚心理学演習	2			○	○	○		2単位以上
認知心理学演習			2			○	○	○			
認知神経心理学演習			2			○	○	○			
行動論演習			2			○	○	○			
生涯発達心理学演習			2			○	○	○			
生涯教育心理学演習			2			○	○	○			
臨床心理面接演習1			2			○	○	○			
臨床心理面接演習2			2			○	○	○			
臨床心理査定演習			2			○	○	○			
社会心理学演習			2			○	○	○			
犯罪心理学演習	2			○	○	○					
集団力学演習	2			○	○	○					
(略)											
目 修	講読	初級心理学外書講読	2			○	○	○	○	2単位以上	
		中級心理学外書講読	2			○	○	○			
		感覚心理学講読	2			○	○	○			
		認知心理学講読	2			○	○	○			
		認知神経心理学講読	2			○	○	○			
		生涯発達心理学講読	2			○	○	○			
		生涯教育心理学講読	2			○	○	○			
		発達心理学講読	2			○	○	○			
		臨床心理基礎論講読	2			○	○	○			
		臨床心理面接講読	2			○	○	○			
		心理療法講読	2			○	○	○			
		臨床心理技法講読	2			○	○	○			
		臨床心理学講読	2			○	○	○			
社会心理学講読	2			○	○	○					
犯罪心理学講読	2			○	○	○					
(略)											

【心理学科履修細則一部変更】2015年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

- 4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年		2年		3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 5) 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

2016年度より変更があった部分

【心理学部規程一部変更】2015年度入学生に適用

(略)

第10条 学科科目は、必修科目及び選択科目（選択必修科目、選択科目）に分ける。なお、心理学における学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
心理学	66単位

2 心理学における学科科目及び単位数は、心理学部規程に定める。

(略)

別表I 心理学 開講科目表

履修区分	分野	旧授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修	研究	特論演習	2							○	6単位
		卒業研究	1	2						○	
		卒業研究	2	2						○	
選択	論文	卒業論文			4					○	
基盤教育科目	基礎科目群	初年次科目	新入生演習は1年次に全員が履修すること。								10単位以上
		外国語科目	英語・ドイツ語・フランス語・中国語の中から、4単位以上を修得すること。								
		体育科目	2単位以上を修得すること。								
	教養科目群										6単位以上
	キャリア科目群	キャリアデザイン論は1年次に全員が履修すること。									4単位以上
	総合科目群	追大U1科目									2単位以上
		スポーツキャリア科目									
		国際交流科目									
	上記の基盤教育科目中から30単位以上修得すること										
	選択必修	総合科目	心理学の総合的理解		2		○	○	○	○	
心理学総合科目1				2			○	○	○		
心理学総合科目2				2			○	○	○		
心理学総合科目				2			○	○	○		
一般心理学系		倫理学概論1		2			○	○	○		14単位以上
		倫理学概論2		2			○	○	○		
		社会学概論1		2			○	○	○	科	
		社会学概論2		2			○	○	○	科	
		心理学の歴史		2				○	○	科	
		心理学体系論		2				○	○	科	
認知・脳科学系		認知・脳科学入門		2			○	○	○	○	14単位以上
		感覚心理学		2				○	○	○	
		認知心理学		2				○	○	○	
		生理心理学		2				○	○	○	
		生物行動学		2				○	○	○	
		認知神経心理学		2					○	○	
		感情心理学		2					○	○	
環境心理学			2					○	○		
社会認知神経科学			2					○	○		
生涯発達・生涯教育心理学系		生涯発達・生涯教育心理学入門		2			○	○	○	○	職
	生涯発達心理学		2				○	○	○		
	教育心理学		2				○	○	○		
	子ども学		2				○	○	○		
	カウンセリング心理学		2				○	○	○		
	家族心理学		2				○	○	○		
	言語発達心理学		2					○	○		
	学校心理学		2					○	○		
	実験発達心理学		2					○	○		

選択必修	学科学目	臨床心理学系概論科目	臨床心理学入門	2		○	○	○	○		14単位以上	
			臨床心理学基礎論	2				○	○	○		科
			パーソナリティ心理学	2				○	○	○		科
			精神分析学	2				○	○	○		
			精神医学	2				○	○	○		
			心理療法学	2				○	○	○		
			発達障害論	2				○	○	○		
			障害福祉心理学	2				○	○	○		
			介護心理学	2				○	○	○		
			遊戯療法論	2				○	○	○		
			認知行動療法論	2				○	○	○		
			メンタルヘルス論	2				○	○	○		
			心理検査学	2				○	○	○		
			心理検査法	2				○	○	○		
		社会・犯罪	概論科目	社会・犯罪心理学入門	2		○	○	○	○	科	
				社会心理学	2			○	○	○	科	
				犯罪心理学	2			○	○	○	科	
				対人行動論	2			○	○	○	科	
				集団力学	2			○	○	○	科	
		特講	感覚心理学特講	2					○	○		
			認知心理学特講	2					○	○		
			認知神経心理学特講	2					○	○		
			生涯発達心理学特講	2					○	○		
			生涯教育心理学特講	2					○	○		
			心理療法学特講1	2					○	○		
			心理療法学特講2	2					○	○		
			臨床心理面接特講1	2					○	○		
			臨床心理面接特講2	2					○	○		
			臨床心理査定特講1	2					○	○		
		臨床心理査定特講2	2					○	○			
		社会心理学特講	2					○	○			
		犯罪心理学特講	2					○	○			
		集団力学特講	2					○	○			
		ライフスタイル	演習	ライフスタイル演習1	2		○					
				ライフスタイル演習2	2			○				
				ライフスタイル演習	2			○				
		演習系	感覚心理学演習	2				○	○	○		
			認知心理学演習	2				○	○	○		
			認知神経心理学演習	2				○	○	○		
			生涯発達心理学演習	2				○	○	○		
			生涯教育心理学演習	2				○	○	○		
			臨床心理面接演習1	2				○	○	○		
			臨床心理面接演習2	2				○	○	○		
			臨床心理査定演習	2				○	○	○		
			社会心理学演習	2				○	○	○		
			犯罪心理学演習	2				○	○	○		
		集団力学演習	2				○	○	○			
		実践演習	心理現場へのインターンシップ	2					○	○		
			心理実践インターンシップ1	2					○	○		
			心理実践インターンシップ2	2					○	○		
			メンタルケア演習	2					○	○		
			チャイルドサポート演習	2					○	○		
			ビジネスリサーチ演習	2					○	○		
心理統計法1	2				○	○	○	○				
心理統計法2	2			○	○	○	○					
レポート・論文の書き方	2				○	○	○					
プレゼンテーション法	2				○	○	○					
心理測定法	2				○	○	○					
心理学的データ解析	2				○	○	○					
心理学研究方法	2				○	○	○					
面接調査法	2				○	○	○					
質問紙調査法	2				○	○	○					
実験心理学演習1	2				○	○	○					
実験心理学演習2	2				○	○	○					
心理検査法演習1	2				○	○	○					
心理検査法演習2	2				○	○	○					
心理療法演習1	2				○	○	○					
心理療法演習2	2				○	○	○					
心理療法演習3	2				○	○	○					
心理療法演習4	2				○	○	○					
心理療法演習5	2				○	○	○					
心理療法演習6	2				○	○	○					
心理療法演習7	2				○	○	○					

講読	初級心理学外書講読	2		○	○	○	○		2単位以上
	中級心理学外書講読	2			○	○	○		
	感覚心理学講読	2		○	○	○	○		
	認知心理学講読	2				○	○		
	認知神経心理学講読	2		○	○	○	○		
	生涯発達心理学講読	2		○	○	○	○		
	生涯教育心理学講読	2				○	○		
	臨床心理基礎論講読	2		○	○	○	○		
	臨床心理面接講読	2		○	○	○	○		
	心理療法講読	2				○	○		
	臨床心理学講読	2				○	○		
留学	国際コミュニケーション	4			○	○	○		大学が認めた留学生は、最大16単位までを卒業に必要な単位として認める
	国際特別演習	4			○	○	○		
	国際事情	4			○	○	○		
	国際表現演習	4			○	○	○		

上記の学科科目から6単位以上

選択	学科科目	関連科目	教職ゼミ I	2		○	○	○			
			教職ゼミ II	2			○	○	○		
			法律学概論 1	2			○	○	○		科
			法律学概論 2	2			○	○	○		科
			現代文化論	2			○	○	○		科
			歴史社会学	2				○	○		
			メディア文化論	2		○	○	○	○		科
			支配と抵抗の社会学	2				○	○		
			宗教文化論	2			○	○	○		
			サブカルチャー論	2			○	○	○		科
			コミュニケーション論	2		○	○	○	○		
選択	学科科目	関連科目	コミュニケーションの社会学	2		○	○	○			
			スポーツ社会学	2			○	○	○		
			社会学史	2				○	○		
			社会学理論	2				○	○		
			家族文化論	2			○	○	○		
			家族社会学	2			○	○	○		
			ジェンダーの社会学	2				○	○		
			環境倫理学	2			○	○	○		
			都市文化論	2				○	○		
			文化人類学	2				○	○		
			基礎生態学	2				○	○		
			生態・環境論	2				○	○		
			人間関係論	2			○	○	○		
			社会福祉概論 1	2			○	○	○		
			社会福祉概論 2	2			○	○	○		
			老人福祉論	2				○	○		
			障害者福祉学	2			○	○	○		
			児童福祉論	2				○	○		
			地域福祉論	2			○	○	○		
			現代文化の諸相	2		○	○	○	○		
			モードとスタイル	2		○	○	○	○		
			映像文化論	2			○	○	○		
			路上観察学	2			○	○	○		
			消費文化論	2			○	○	○		
			ポップカルチャー	2			○	○	○		
			アート環境論	2				○	○		
			ライフスタイル論	2			○	○	○		
			逸脱論	2			○	○	○		
ライフコース論	2			○	○	○					
身体文化論	2				○	○					
エイジングの社会学	2				○	○					
仕事と遊びの社会学	2				○	○					
学校の社会学	2			○	○	○					
福祉文化論	2			○	○	○					
組織論	2				○	○					
ソーシャルワーク論	2				○	○					
ERPビジネスプロセス 1	2				○	○					
ERPビジネスプロセス 2	2				○	○					
ERPビジネスプロセス演習 1	2				○	○					
ERPビジネスプロセス演習 2	2				○	○					
基礎教育科目	総合科目群	基本科目群(選択必修科目とする科目を除く)									
		教養科目群(選択必修科目とする科目を除く)									
キャリア科目群(選択必修科目とする科目を除く)											
<p>選択必修科目とする科目を除き、追U1科目においては最大8単位までを、スポーツキャリア科目においては全ての単位を、国際交流科目においては最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。</p>											

※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

【心理学科履修細則一部変更】 2015年度入学生に適用

(略)

II 基盤教育科目

(略)

1 基礎科目群

基盤教育科目のうち、基礎科目群は、10単位以上を修得しなければならない。10単位を超えて取得した基礎科目群の単位は、卒業要件として認める。

1) 初年時科目

(A) 基礎科目群のうち、初年次科目の新入生演習は、1年生全員が履修するものとする。修得した単位は卒業要件単位として認める。

(B) 学科共通履修細則の初年次科目の項を参照すること。

(略)

III 学科科目

1) 心理学科における学科科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分かれる。また、学科科目には、学年指定のある科目があるので、心理学部規程を参照し、所定の方法により単位を修得しなければならない。

(略)

3) 選択科目については、心理学部規程を参照すること。また、心理学科が開設する学科科目のうち、最低修得単位数(66単位)を超えて修得した科目の単位は、卒業要件単位として認める。

(略)

2015年度より変更があった部分

【心理学部規程一部変更】 2015年度入学生に適用

(入学)

(略)

第 28 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。

2 検定の方法は、別に定める。

3 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(休学)

第 34 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

(懲戒)

第 58 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

規程等

「国際教養学部関連規程等」

2017年度より変更があった部分

【国際教養学部規程一部変更】2015年度入学生に適用

(学部・学科の目的)

第2条 国際教養学部は、現代社会の理解と創造に役立つ情報文化と21世紀の国際社会に広く通用する国際語学を中心に教育を行い、生活基盤としての基礎教養文化（コモン・リベラル・アーツ）の上に、より多様化し複雑化する社会や文化に対する的確な理解及び情報の適切な選択と発信の能力を涵養し、もって現代に通用する生きた教養を備えた社会有為の人材の育成を目的とする。

2 国際教養学部には、国際教養学科とアジア学科を置く。

国際教養学科では、1) 21世紀の国際社会に広く通用する英語コミュニケーション能力を備えた人材、2) 異文化コミュニケーション能力の育成と異文化交流の促進、キャリア形成や資格を目指す実践英語学習などを通じて、国際社会の多方面で活躍する表現力、行動力、判断力を兼ね備えた教養人の育成を目的とする。

アジア学科では、1) 中国語やアジア諸地域でコミュニケーションが可能な英語の実践力を有し、その他のアジア諸言語についても一定の知識をもつ人材、2) アジア諸地域に関する基礎知識のうえにフィールドワークなどの体験的・主体的学習を通じて、日本を含むアジア諸地域の社会と文化に深い理解を持ち、日本はもとより国際社会の多方面で活躍する教養人の育成を目的とする。

(学科及び定員)

第3条 本学部には置く学科及び学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	編入学定員	収容定員
<u>国際教養学科</u>	<u>130名</u>	5名	<u>530名</u>
<u>アジア学科</u>	<u>100名</u>	5名	<u>410名</u>
計	230名	10名	940名

(略)

第8条 各学科の卒業に必要な単位数は、次表のとおりとする。

学科	単位数
<u>国際教養学科</u>	124単位
<u>アジア学科</u>	124単位

(略)

第 10 条 基盤教育科目は、国際教養 学科においては 22 単位以上、アジア 学科においては 20 単位以上を修得するものとする。

2 基盤教育科目のうち、基礎科目群は、初年次科目、外国語科目、体育科目の中から、次のとおり履修及び修得するものとする。

(1) 基礎科目群のうち、初年次科目の新入生演習は、1 年生全員が履修するものとする。

(2) 基礎科目群のうち、外国語科目の必修単位数・修得単位数・全員履修科目等は、各学科の履修細則に定めるが、できるかぎり多くの単位を修得することが望ましい。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、外国語科目として日本語を修得しなければならない。

(3) 基礎科目群のうち、体育科目は、2 単位以上を修得するものとする。

3 基盤教育科目のうち、教養科目群は、6 単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情 1・2・3・4 を修得しなければならない。

4 基盤教育科目のうち、キャリア科目群は、4 単位以上を修得するものとする。また、キャリアデザイン論は、1 年生全員が履修するものとする。

5 基盤教育科目のうち、総合科目群は、追大 UI 科目、スポーツキャリア科目、国際交流科目の中から、2 単位以上を修得するものとする。また、追大 UI 科目においては最大 8 単位までを、スポーツキャリア科目においては全ての単位を、国際交流科目においては最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

第 11 条 学科科目は、必修科目及び選択科目（選択必修科目、選択科目）に分ける。なお、各学科の学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
<u>国際教養</u> 学科	<u>56</u> 単位
<u>アジア</u> 学科	<u>62</u> 単位

(略)

第 12 条 各学科における授業科目の履修については、次のとおりとする。

(1) 国際教養 学科

(略)

* 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目群から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 4 単位を修得しなければならない。(国際教養学科履修細則 II-2、II-3 参照)

(2) アジア 学科

(略)

* 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目群から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 8 単位を修得しなければならない。(アジア学科履修細則 II-2、II-3 参照)

(略)

(単位の計算)

第 15 条 授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目には 45 時間の学修を要することを標準とし、次の基準によるものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 外国語科目については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (4) 卒業論文については、国際教養 学科 4 単位、アジア 学科 6 単位とする。

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(卒業及び学位)

第 27 条 本大学に 4 年以上在学し、所定の課程を修めた者をもって、卒業したものとする。

2 本大学を卒業した者には、次のとおり学位を授与する。

国際教養学部

国際教養 学科 学士 (国際教養学)

アジア 学科 学士 (国際教養学)

(略)

第 54 条 入学金、授業料、教育充実費、研修指導費、履修料、聴講料、研究指導費の金額及び徴収については、別にこれを定める。

(略)

別表 I (第 9 条関係)

(1) 国際教養 学科 開講科目表

区分		授業科目	単位数			配当年次				教職*	要件			
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4					
学 科 科 目	必 修	日本語能力強化科目 日本語ワークショップ	2				○	○	○		2単位			
		Reading 1 (EAP)	2			○	○	○	○		26単位			
		Reading 2 (EAP)	2			○	○	○	○					
		Writing 1 (EAP)	2			○	○	○	○					
		Writing 2 (EAP)	2			○	○	○	○					
		英語発音クリニック	2			○	○	○	○					
		英語リーディング3	2				○	○	○					
		英語リーディング4	2				○	○	○					
		英語ライティング3	2				○	○	○					
		英語ライティング4	2				○	○	○					
		英語コミュニケーション1	2				○	○	○	科				
		英語コミュニケーション2	2				○	○	○	科				
		英語プレゼンテーション1	2						○	○				
		英語プレゼンテーション2	2						○	○				
	選 択	専 修 中 国 語 群	専修中国語初級講読1			2	○	○	○	○	専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。			
			専修中国語初級講読2			2	○	○	○	○				
			専修中国語初級講読3			2	○	○	○	○				
			専修中国語初級講読4			2	○	○	○	○				
			専修中国語初級会話1			2	○	○	○	○				
			専修中国語初級会話2			2	○	○	○	○				
			専修中国語中級講読1			2		○	○	○				
			専修中国語中級講読2			2		○	○	○				
			専修中国語中級作文1			2		○	○	○				
			専修中国語中級作文2			2		○	○	○				
			専修中国語中級会話1			2		○	○	○				
			専修中国語中級会話2			2		○	○	○				
			専修総合中国語1			2			○	○				
			専修総合中国語2			2			○	○				
			専修中国語上級会話1			2			○	○				
			専修中国語上級会話2			2			○	○				
			選 択 必 修 A	実 践 英 語	資格英語1		2			○		○		8単位以上
					資格英語2		2					○	○	
	資格英語3				2					○				
	資格英語4				2					○				
	トラベルイングリッシュ1				2				○	○				
	トラベルイングリッシュ2				2				○	○				
観光ビジネス英語1		2						○	○					
観光ビジネス英語2		2						○	○					
秘書英語1		2						○	○					
秘書英語2		2						○	○					
通訳英語1		2						○	○					
通訳英語2		2						○	○					
国際事情		4						○	○	○				
国際表現演習		4						○	○	○				

大学が認めた留学生専用科目

区分		授業科目	単位数		配当年次				教職※	要件		
			必修	選択の枠	選択	1	2	3			4	
学 科 科 目	必修	演習	Research Project 1	2					○	○	8単位	
			Research Project 2	2					○	○		
			Research Project 3	2						○		
			Research Project 4	2						○		
	選択	論文	卒業論文		4						○	
			講義	イギリス文化講義		2				○	○	○
		アメリカ文化講義			2				○	○	○	科
		イギリス史			2				○	○	○	科
		アメリカ史			2				○	○	○	科
		英文学概論1			2				○	○	○	科
		英文学概論2			2				○	○	○	科
		米文学概論1			2				○	○	○	科
		米文学概論2			2				○	○	○	科
		英語学概論1			2				○	○	○	科
		英語学概論2			2				○	○	○	科
		英語学講義1			2				○	○	○	科
		英語学講義2			2				○	○	○	科
		英語音声学1			2				○	○	○	科
		英語音声学2			2				○	○	○	科
		英語コミュニケーション論1			2				○	○	○	
		英語コミュニケーション論2			2				○	○	○	
		情報科学各論1			2				○	○	○	
		情報科学各論2			2				○	○	○	
		言語情報処理概論1			2				○	○	○	科
		言語情報処理概論2			2				○	○	○	科
		ICTと英語研究			2				○	○	○	
		ICTと英語教育			2				○	○	○	
		異文化間コミュニケーション論1			2				○	○	○	
		異文化間コミュニケーション論2			2				○	○	○	
		日欧比較論1		2				○	○	○		
		日欧比較論2		2				○	○	○		
		現地演習	カナダ現地演習		4				○	○	○	現地演習と文化演習は、同一地域のものを必ずセットで履修すること。
			カナダ文化演習		4				○	○	○	
			中国語現地演習		4				○	○	○	
中国語文化演習				4				○	○	○		
講義		アジア論1		2				○	○	○		
	アジア論2		2				○	○	○			
	フィールドワーク論		2		○		○	○	○			
	東洋史概説1		2				○	○	○			
	東洋史概説2		2				○	○	○			
	日本史概説1		2				○	○	○			
	日本史概説2		2				○	○	○			
	考古学概説1		2				○	○	○			
	考古学概説2		2				○	○	○			
	人文地理学概説1		2				○	○	○			
	人文地理学概説2		2				○	○	○			
	自然地理学概説1		2				○	○	○			
	自然地理学概説2		2				○	○	○			

区分	授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件
		必修	選択の枠	選択	1	2	3	4		
学科科目	選択必修B	講義	地誌学1	2			○	○	○	
			地誌学2	2			○	○	○	
			アジア研究入門1	2			○	○	○	
			アジア研究入門2	2			○	○	○	
			東南アジアの社会1	2			○	○	○	
			東南アジアの社会2	2			○	○	○	
			南・西南アジアの社会1	2			○	○	○	
			南・西南アジアの社会2	2			○	○	○	
			インドの思想と宗教1	2			○	○	○	
			インドの思想と宗教2	2			○	○	○	
			近現代の中国	2			○	○	○	
			現代中国の文芸1	2			○	○	○	
			現代中国の文芸2	2			○	○	○	
			漢文学	2			○	○	○	
			日本文学史1	2			○	○	○	
			日本文学史2	2			○	○	○	
			日本文学概説1	2			○	○	○	
			日本文学概説2	2			○	○	○	
			中国の思想1	2			○	○		
			中国の思想2	2			○	○		
			西南アジアの歴史1	2			○	○		
			西南アジアの歴史2	2			○	○		
			中国の文学1	2			○	○		
			中国の文学2	2			○	○		
			日本の芸能と文学1	2			○	○		
			日本の芸能と文学2	2			○	○		
			比較社会史1	2			○	○		
			比較社会史2	2			○	○		
			現代アジアの諸問題1	2			○	○		
			現代アジアの諸問題2	2			○	○		
			アジア・オーストラリア関係論1	2			○	○	○	
			アジア・オーストラリア関係論2	2			○	○	○	
			アジアフィールドワーク1	4			○	○	○	
			アジア社会演習1	4			○	○	○	
			アジアフィールドワーク2	4			○	○	○	
			アジア社会演習2	4			○	○	○	
			アジアフィールドワーク3	4			○	○	○	
			アジア社会演習3	4			○	○	○	
			アジアフィールドワーク4	4			○	○	○	
			アジア社会演習4	4			○	○	○	
			日本語のための古典1	2			○	○	○	○
			日本語のための古典2	2			○	○	○	○
日本語学1	2			○	○	○	○			
日本語学2	2			○	○	○	○			
南・西南アジア諸語の世界1	2			○	○	○				
南・西南アジア諸語の世界2	2			○	○	○				
東南アジア諸語の世界1	2			○	○	○				
東南アジア諸語の世界2	2			○	○	○				

アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目番号の同じもの)をセットで履修すること。

区分		授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件		
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4				
学 科 目	選 択 必 修 B	講 義	韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目	
			国語学1		2			○	○	○			
			国語学2		2				○	○	○		
			国語学史		2					○	○		
			日本語教育演習1		2					○	○		
			日本語教育演習2		2					○	○		
			アジア英語1		2					○	○		
			アジア英語2		2					○	○		
			日本語教育実習1		1						○		
			日本語教育実習2		1						○		
			国際コミュニケーション論		4				○	○	○		
			国際特別演習		4				○	○	○		
			教職ゼミⅠ		2				○	○	○		
	教職ゼミⅡ		2					○	○				
	選 択	講 義	西洋史概説1			2		○	○	○			
			西洋史概説2			2		○	○	○			
			応用日本語1			2		○	○	○			
			応用日本語2			2		○	○	○			
			心理学体系論			2			○	○			
			心理学の歴史			2			○	○			
			美学美術史1			2		○	○	○			
			美学美術史2			2		○	○	○			
			哲学概論1			2		○	○	○			
			哲学概論2			2		○	○	○			
			認知心理学			2		○	○	○			
			文化人類学			2			○	○			
オーストラリア産業論1					2		○	○	○				
オーストラリア産業論2			2		○	○	○						
韓国の文化と社会1			2		○	○	○						
韓国の文化と社会2			2		○	○	○						
現代韓国事情			2		○	○	○						

(略)

(2) アジア学科 開講科目表

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学科科目	講義	アジア論1	2			○	○	○	○	16単位	
		アジア論2	2			○	○	○	○		
	演習	基礎演習1	2			○	○	○	○		
		基礎演習2	2			○	○	○	○		
		応用演習1	2				○	○	○		
		応用演習2	2				○	○	○		
		卒業演習1	2					○	○		
		卒業演習2	2					○	○		
	専修中国語群	専修中国語初級講読1		2		○	○	○	○		専修中国語群もしくは専修英語群のいずれかを選択し、16単位以上修得すること。ただし、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者については学科の指定する専修外国語群から16単位以上修得しなければならない。 専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。
		専修中国語初級講読2		2		○	○	○	○		
		専修中国語初級講読3		2		○	○	○	○		
		専修中国語初級講読4		2		○	○	○	○		
		専修中国語初級会話1		2		○	○	○	○		
		専修中国語初級会話2		2		○	○	○	○		
		専修中国語中級講読1		2			○	○	○		
		専修中国語中級講読2		2			○	○	○		
		専修中国語中級作文1		2			○	○	○		
		専修中国語中級作文2		2			○	○	○		
		専修中国語中級会話1		2			○	○	○		
		専修中国語中級会話2		2			○	○	○		
		専修総合中国語1		2				○	○		
		専修総合中国語2		2				○	○		
	専修中国語上級会話1		2				○	○			
	専修中国語上級会話2		2				○	○			
	選択必修A	中国語現地演習		4			○	○	○	中国語現地演習と中国語文化演習は必ずセットで履修すること。	
		中国語文化演習		4			○	○	○		
		専修英語群	Reading 1 (EAP)		2		○	○	○	○	カナダ現地演習とカナダ文化演習は必ずセットで履修すること。
			Reading 2 (EAP)		2		○	○	○	○	
Writing 1 (EAP)				2		○	○	○	○		
Writing 2 (EAP)				2		○	○	○	○		
英語発音クリニック				2		○	○	○	○		
英語リーディング3				2			○	○	○		
英語リーディング4				2			○	○	○		
英語ライティング3				2			○	○	○		
英語ライティング4				2			○	○	○		
英語コミュニケーション1				2			○	○	○		
英語コミュニケーション2				2			○	○	○		
英語プレゼンテーション1				2				○	○		
英語プレゼンテーション2		2				○	○				
カナダ現地演習		4			○	○	○	カナダ現地演習とカナダ文化演習は必ずセットで履修すること。			
カナダ文化演習		4			○	○	○				

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
論文	卒業論文		6					○		
	フィールドワーク論		2		○	○	○	○		
	東洋史概説1		2			○	○	○	科	
	東洋史概説2		2			○	○	○	科	
	西洋史概説1		2			○	○	○	科	
	西洋史概説2		2			○	○	○	科	
	日本史概説1		2			○	○	○	科	
	日本史概説2		2			○	○	○	科	
	考古学概説1		2			○	○	○		
	考古学概説2		2			○	○	○		
	人文地理学概説1		2			○	○	○	科	
	人文地理学概説2		2			○	○	○	科	
	自然地理学概説1		2			○	○	○	科	
	自然地理学概説2		2			○	○	○	科	
	地誌学1		2			○	○	○	科	
	地誌学2		2			○	○	○	科	
	アジア研究入門1		2			○	○	○	科	
	アジア研究入門2		2			○	○	○	科	
	東南アジアの社会1		2			○	○	○		
	東南アジアの社会2		2			○	○	○		
	南・西南アジアの社会1		2			○	○	○	科	
	南・西南アジアの社会2		2			○	○	○		
	インドの思想と宗教1		2			○	○	○	科	
	インドの思想と宗教2		2			○	○	○	科	
	近現代の中国		2			○	○	○		
	現代中国の文芸1		2			○	○	○	科	
	現代中国の文芸2		2			○	○	○	科	
	漢文学		2			○	○	○	科	
	日本文学史1		2			○	○	○	科	
	日本文学史2		2			○	○	○	科	
	日本文学概説1		2			○	○	○	科	
	日本文学概説2		2			○	○	○	科	
	中国の思想1		2				○	○	科	
	中国の思想2		2				○	○	科	
	西南アジアの歴史1		2				○	○	科	
	西南アジアの歴史2		2				○	○	科	
	中国の文学1		2				○	○	科	
	中国の文学2		2				○	○	科	
	日本の芸能と文学1		2				○	○	科	
	日本の芸能と文学2		2				○	○	科	
	比較社会史1		2				○	○	科	
	比較社会史2		2				○	○	科	
	現代アジアの諸問題1		2				○	○		
	現代アジアの諸問題2		2				○	○		
	アジア・オーストラリア関係論1		2				○	○		
アジア・オーストラリア関係論2		2				○	○			
国際コミュニケーション論		4				○	○		大学が認めた留学生専用科目	
国際事情		4				○	○			

学
科
科
目

選
択
必
修
B

講
義

24単位以上

大学が認めた留学生専用科目

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学科科目	選択必修C 講義	アジアフィールドワーク1		4		○	○	○	科	6単位以上 アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目名番号の同じもの)をセットで履修すること。	
		アジア社会演習1		4		○	○	○			
		アジアフィールドワーク2		4			○	○	○		
		アジア社会演習2		4			○	○	○		
		アジアフィールドワーク3		4			○	○	○		
		アジア社会演習3		4			○	○	○		
		アジアフィールドワーク4		4			○	○	○		
		アジア社会演習4		4			○	○	○		
		国際特別演習		4			○	○	○		
		国際表現演習		4			○	○	○		
		日本語のための古典1		2		○	○	○	○	科	大学が認めた留学生専用科目
		日本語のための古典2		2		○	○	○	○	科	
		日本語学1		2		○	○	○	○	科	
		日本語学2		2		○	○	○	○	科	
		南・西南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
		南・西南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
		東南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
		東南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
		韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○		
		国語学1		2			○	○	○	科	
	国語学2		2			○	○	○	科		
	応用日本語1		2			○	○	○	科		
	応用日本語2		2			○	○	○	科		
	国語学史		2				○	○	科		
	日本語教育演習1		2				○	○			
	日本語教育演習2		2				○	○			
	アジア英語1		2				○	○			
	アジア英語2		2				○	○			
	実習	日本語教育実習1		1					○		
	日本語教育実習2		1						○		
	選択 講義	イギリス文化講義			2		○	○	○		
		アメリカ文化講義			2		○	○	○		
イギリス史				2		○	○	○			
アメリカ史				2		○	○	○			
英文学概論1				2		○	○	○			
英文学概論2				2		○	○	○			
米文学概論1				2		○	○	○			
米文学概論2				2		○	○	○			
英語学概論1				2		○	○	○			
英語学概論2				2		○	○	○			
英語学講義1				2		○	○	○			
英語学講義2				2		○	○	○			
英語音声学1				2		○	○	○			
英語音声学2				2		○	○	○			
英語コミュニケーション論1				2		○	○	○			
英語コミュニケーション論2				2		○	○	○			
情報科学各論1				2		○	○	○			
情報科学各論2				2		○	○	○			

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学科科目 選択	講義	言語情報処理概論1			2		○	○	○		
		言語情報処理概論2			2		○	○	○		
		ICTと英語研究			2		○	○	○		
		ICTと英語教育			2		○	○	○		
		異文化間コミュニケーション論1			2		○	○	○		
		異文化間コミュニケーション論2			2		○	○	○		
		日欧比較論1			2		○	○	○		
		日欧比較論2			2		○	○	○		
		美学美術史1			2		○	○	○		
		美学美術史2			2		○	○	○		
		文化人類学			2			○	○		
		経済原論			4		○	○	○		科
		アジア経済論1			2		○	○	○		
		アジア経済論2			2		○	○	○		
		アジア経済論			2		○	○	○		
		オーストラリア経済論			4		○	○	○		
		オーストラリア経済論1			2		○	○	○		
		オーストラリア経済論2			2		○	○	○		
		オーストラリア産業論1			2		○	○	○		
		オーストラリア産業論2			2		○	○	○		
		韓国の文化と社会1			2		○	○	○		
		韓国の文化と社会2			2		○	○	○		
		現代韓国事情			2		○	○	○		
		社会学概論1			2		○	○	○		科
		社会学概論2			2		○	○	○		科
		哲学概論1			2		○	○	○		科
		哲学概論2			2		○	○	○		科
		日本経済史1			2			○	○		
		日本経済史2			2			○	○		
		日本経済史			2		○	○	○		
		外国経済史1			2			○	○		
		外国経済史2			2			○	○		
		外国経済史			2		○	○	○		
		経済地理1			2			○	○		
		経済地理2			2			○	○		
		中国語科教育研究1			2			○	○		職
		中国語科教育研究2			2			○	○		職
		国語科教育研究1			2			○	○		職
		国語科教育研究2			2			○	○		職
		教職ゼミ I			2		○	○	○		
教職ゼミ II			2		○	○	○				
自由	講義	書道1			2	○	○	○	科	教職課程に関する規程第3条第4項第8号に定める科目	
		書道2			2	○	○	○	科		

(略)

【国際教養学科履修細則一部変更】 2015年度入学生に適用

I 一般的事項

- 1) 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際教養学部規程、各学科の学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育主事・レクリエーションインストラクターの資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や各科目表・講義内容要旨等を参考にして、「時間制作成の手引き」と各学科等の開講科目表とにより、当該年度における履修科目を決定すること。

(略)

- 5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

ただし、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。また、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7
リーダーズプログラム 8
リーダーズプログラム 9
リーダーズプログラム 10
リーダーズプログラム 11
スポーツフィールド実習 I
スポーツフィールド実習 II
交換留学インド
交換留学オーストラリア
交換留学アメリカ
交換留学中国
交換留学タイ
交換留学イギリス
交換留学韓国
交換留学オランダ
交換留学ドイツ
交換留学台湾
交換留学スペイン
海外セミナー
短期海外セミナー
国際現地研修
海外インターンシップ

- 6) 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

II 基盤教育科目

(略)

2 基礎科目群

(略)

2) 外国語科目

(A) 基礎科目群のうち、外国語科目は必要単位数を設けない。

(B) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本語 4 単位を修得しなければならない。

3) 体育科目

基礎科目群のうち、体育科目は、2 単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の体育科目の項を参照すること。

3 教養科目群

基盤教育科目のうち、教養科目群は、6 単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情 1・2・3・4 を修得しなければならない。教養科目群は、原則として 1 年次で履修することが望ましい。

なお、履修登録者数によっては、クラスを指定する場合がある。

(略)

III 学科科目

(略)

2) 国際教養学科の学科科目は、必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習)、選択必修 A、選択必修 B、選択(専修中国語科目群・卒業論文・講義)に分かれる。学科科目には、学年指定のある科目や、同一年次に並行して履修することができない科目があるので、下記の留意事項および国際教養学部規程を参照し、所定の方法で単位を修得しなければならない。

(A) 必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習) は、36 単位を修得しなければならない。

① 1 年次担当は「Reading 1 (EAP)」「Reading 2 (EAP)」「Writing 1 (EAP)」「Writing 2 (EAP)」「英語発音クリニック」計 10 単位である。

② 2 年次担当は「日本語ワークショップ」「英語リーディング 3」「英語リーディング 4」「英語ライティング 3」「英語ライティング 4」「英語コミュニケーション 1」「英語コミュニケーション 2」計 14 単位である。

③ 3年次担当は「英語プレゼンテーション1」「英語プレゼンテーション2」「Research Project 1」「Research Project 2」計8単位である。

④ 4年次担当は「Research Project 3」「Research Project 4」計4単位である。

(略)

【アジア学科履修細則一部変更】 2015年度入学生に適用

I 一般的事項

- 1) 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際教養学部規程、各学科の学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育主事・レクリエーションインストラクターの資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や各科目表・講義内容要旨等を参考にして、「時間割作成の手引き」と各学科等の開講科目表とにより、当該年度における履修科目を決定すること。

(略)

- 5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

ただし、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。また、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7

リーダーズプログラム 8
リーダーズプログラム 9
リーダーズプログラム 10
リーダーズプログラム 11
スポーツフィールド実習 I
スポーツフィールド実習 II
交換留学インド
交換留学オーストラリア
交換留学アメリカ
交換留学中国
交換留学タイ
交換留学イギリス
交換留学韓国
交換留学オランダ
交換留学ドイツ
交換留学台湾
交換留学スペイン
海外セミナー
短期海外セミナー
国際現地研修
海外インターンシップ

- 6) 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者 及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

II 基盤教育科目

(略)

2 基礎科目群

(略)

2) 外国語科目

(A) 基礎科目群のうち、外国語科目は2単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の外国語科目の項を参照すること。

(B) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本語8単位を修得しなければならない。

(C) 必修単位は卒業年次までに修得すればよいが、できる限り1年次・2年次で修得すること。

3) 体育科目

基礎科目群のうち、体育科目は、2単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の体育科目の項を参照すること。

3 教養科目群

基盤教育科目のうち、教養科目群は、6単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情1・2・3・4を修得しなければならない。アジア学科の開設する総合科目群は、次のとおりである。原則として1年次で履修することが望ましい。

なお、履修登録者数によっては、クラスを指定する場合がある。

人文地理学入門

アジアと国際社会 1

アジアと国際社会 2

アジアの文化 1

アジアの文化 2

アジアの文学 1

アジアの文学 2

日本の文学

日本の伝統芸能

オーストラリアと国際社会 1

オーストラリアと国際社会 2

自然地理学

(略)

2016年度より変更があった部分

【国際教養学部規程一部変更】 2015年度入学生に適用

(略)

(学部学科の目的)

第2条 国際教養学部は、現代社会の理解と創造に役立つ情報文化と21世紀の国際社会に広く通用する国際語学を中心に教育を行い、生活基盤としての基礎教養文化(コモン・リベラル・アーツ)の上に、より多様化し複雑化する社会や文化に対する的確な理解及び情報の適切な選択と発信の能力を涵養し、もって現代に通用する生きた教養を備えた社会有為の人材の育成を目的とする。

2 国際教養学部は、アジア学科と国際教養学科を置く。

アジア学科では、1)中国語やアジア諸地域でコミュニケーションが可能な英語の実践力を有し、その他のアジア諸言語についても一定の知識をもつ人材、2)アジア諸地域に関する基礎知識のうえにフィールドワークなどの体験的・主体的学習を通じて、日本を含むアジア諸地域の社会と文化に深い理解を持ち、日本はもとより国際社会の多方面で活躍する教養人の育成を目的とする。

国際教養学科では、1)21世紀の国際社会に広く通用する英語コミュニケーション能力を備えた人材、2)異文化コミュニケーション能力の育成と異文化交流の促進、キャリア形成や資格を目指す実践英語学習などを通じて、国際社会の多方面で活躍する表現力、行動力、判断力を兼ね備えた教養人の育成を目的とする。

(定員)

第3条 本学部に置く学科の学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	編入学定員	収容定員
アジア学科	100名	5名	410名
国際教養学科	130名	5名	530名
計	230名	10名	940名

(略)

(授業科目及び履修方法)

第6条 授業科目は、各学問の基本をなし、かつ幅広く深い教養・総合的な判断力・豊かな人間性を形成するための基盤教育科目(基礎科目群・教養科目群・キャリア科目群・総合科目群)と、各学科の専門の学芸にかかわる学科科目及び資格取得に関する科目に区分

する。

(略)

第 8 条 各学科の卒業に必要な単位数は、次表のとおりとする。

学科	単位数
アジア学科	124 単位
国際教養学科	124 単位

(略)

第 9 条 国際教養学部における授業科目及びその単位数は、別表 I 及び学科共通履修細則に定める。

2 その年度に開講する授業科目は、毎学年始めに発表する。

3 履修の詳細については、各学科の履修細則による。

第 10 条 基盤教育科目は、アジア学科においては 20 単位以上、国際教養学科においては 22 単位以上を修得するものとする。

2 (略)

3 (略)

4 (略)

5 (略)

第 11 条 学科科目は、必修科目及び選択科目(選択必修科目、選択科目)に分ける。なお、各学科の学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
アジア学科	62 単位
国際教養学科	56 単位

2 各学科における学科科目及び単位数は、別表 I のとおりとする。

第 12 条 各学科における授業科目の履修については、次のとおりとする。

(1) アジア学科

(表略)

(2) 国際教養学科

(表略)

* 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目郡から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 4 単位を修得しなければならない。(国際教養学科履修細則 II-2、II-3 参照)

(略)

(単位の計算)

第 15 条 授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目には 45 時間の学修を要することを標準とし、次の基準によるものとする。

- (1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 外国語科目については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (4) 卒業論文については、アジア学科 6 単位、国際教養学科 4 単位とする。

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(卒業及び学位)

第 27 条 本大学に 4 年以上在学し、所定の課程を修めた者をもって、卒業したものとする。

2 本大学を卒業した者には、次のとおり学位を授与する。

国際教養学部

アジア学科 学士(国際教養学)

国際教養学科 学士(国際教養学)

(略)

別表 I (第 9 条関係)

(1) アジア学科 開講科目表

履修区分		授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学 科 科 目	必 修	講義	アジア論1	2			○	○	○		16単位	
		アジア論2	2				○	○	○			
		演 習	基礎演習1	2				○	○	○		
			基礎演習2	2				○	○	○		
			応用演習1	2						○		○
			応用演習2	2						○		○
			卒業演習1	2								○
			卒業演習2	2								○
	選 択 必 修 A	専 修 中 国 語 群	専修中国語初級講読1	2	2		○	○	○	○		専修中国語群もしくは専修英語群のいずれかを選択し、16単位以上修得すること。ただし、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者については学科の指定する専修外国語群から16単位以上修得しなければならない。 専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。
			専修中国語初級講読2	2	2		○	○	○	○		
			専修中国語初級講読3	2	2		○	○	○	○		
			専修中国語初級講読4	2	2		○	○	○	○		
			専修中国語初級会話1	2	2		○	○	○	○		
			専修中国語初級会話2	2	2		○	○	○	○		
			専修中国語中級講読1	2	2			○	○	○		
			専修中国語中級講読2	2	2			○	○	○		
			専修中国語中級作文1	2	2			○	○	○		
			専修中国語中級作文2	2	2			○	○	○		
			専修中国語中級会話1	2	2			○	○	○		
			専修中国語中級会話2	2	2			○	○	○		
			専修総合中国語1	2	2					○	○	
			専修総合中国語2	2	2					○	○	
		専修中国語上級会話1	2	2					○	○		
		専修中国語上級会話2	2	2					○	○		
		専 修 英 語 群	中国語現地演習	4				○	○	○	○	中国語現地演習と中国語文化演習は必ずセットで履修すること。
			中国語文化演習	4				○	○	○	○	
			英語リーディング1	2				○	○	○	○	カナダ現地演習とカナダ文化演習は必ずセットで履修すること。
			英語リーディング2	2				○	○	○	○	
			英語ライティング1	2				○	○	○	○	
			英語ライティング2	2				○	○	○	○	
	英語発音クリニック		2				○	○	○	○		
	英語リーディング3		2					○	○	○		
	英語リーディング4		2					○	○	○		
英語ライティング3	2						○	○	○			
英語ライティング4	2					○	○	○				
英語コミュニケーション1	2					○	○	○				
英語コミュニケーション2	2					○	○	○				
英語プレゼンテーション1	2						○	○				
英語プレゼンテーション2	2						○	○				
カナダ現地演習	4					○	○	○	カナダ現地演習とカナダ文化演習は必ずセットで履修すること。			
カナダ文化演習	4					○	○	○				

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職 ※	要件	
		必修	選択 必修	選択	1	2	3	4			
学 科 科 目	選 択 必 修 B	論文									
		卒業論文		6					○		
		フィールドワーク論		2			○	○	○	○	
		東洋史概説1		2				○	○	○	科
		東洋史概説2		2				○	○	○	科
		西洋史概説1		2				○	○	○	科
		西洋史概説2		2				○	○	○	科
		日本史概説1		2				○	○	○	科
		日本史概説2		2				○	○	○	科
		考古学概説1		2				○	○	○	
		考古学概説2		2				○	○	○	
		人文地理学概説1		2				○	○	○	科
		人文地理学概説2		2				○	○	○	科
		自然地理学概説1		2				○	○	○	科
		自然地理学概説2		2				○	○	○	科
		地誌学1		2				○	○	○	科
		地誌学2		2				○	○	○	科
		アジア研究入門1		2				○	○	○	科
		アジア研究入門2		2				○	○	○	科
		東南アジアの社会1		2				○	○	○	
		東南アジアの社会2		2				○	○	○	
		南・西南アジアの社会1		2				○	○	○	科
		南・西南アジアの社会2		2				○	○	○	
		インドの思想と宗教1		2				○	○	○	科
		インドの思想と宗教2		2				○	○	○	科
		近現代の中国		2				○	○	○	
		現代中国の文芸1		2				○	○	○	科
		現代中国の文芸2		2				○	○	○	科
		漢文学		2				○	○	○	科
		日本文学史1		2				○	○	○	科
		日本文学史2		2				○	○	○	科
		日本文学概説1		2				○	○	○	科
		日本文学概説2		2				○	○	○	科
		中国の思想1		2					○	○	科
		中国の思想2		2					○	○	科
		西南アジアの歴史1		2					○	○	科
		西南アジアの歴史2		2					○	○	科
		中国の文学1		2					○	○	科
		中国の文学2		2					○	○	科
		日本の芸能と文学1		2					○	○	科
		日本の芸能と文学2		2					○	○	科
		比較社会史1		2					○	○	科
		比較社会史2		2					○	○	科
		現代アジアの諸問題1		2					○	○	
		現代アジアの諸問題2		2					○	○	
		アジア・オーストラリア関係論1		2				○	○	○	
		アジア・オーストラリア関係論2		2				○	○	○	
		国際コミュニケーション論		4				○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
		国際事情		4				○	○	○	

24単位以上

大学が認めた留学生専用科目

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件		
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4				
学 科 科 目	選 択 必 修 C	講 義	アジアフィールドワーク1	4			○	○	○	科	6単位以上 アジアフィールドワークとアジア社 会演習は、必ず同一地域のもの (科目番号の同じもの)をセット で履修すること。	
			アジア社会演習1	4			○	○	○			
			アジアフィールドワーク2	4			○	○	○			
			アジア社会演習2	4			○	○	○			
			アジアフィールドワーク3	4			○	○	○			
			アジア社会演習3	4			○	○	○			
			アジアフィールドワーク4	4			○	○	○			
			アジア社会演習4	4			○	○	○			
			国際特別演習	4			○	○	○			大学が認めた留学生専用科目
			国際表現演習	4			○	○	○			
			日本語のための古典1	2		○	○	○	○	○	科	
			日本語のための古典2	2		○	○	○	○	○	科	
			日本語学1	2		○	○	○	○	○	科	
			日本語学2	2		○	○	○	○	○	科	
			南・西南アジア諸語の世界1	2			○	○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界2	2			○	○	○	○		
			東南アジア諸語の世界1	2			○	○	○	○		
			東南アジア諸語の世界2	2			○	○	○	○		
			韓国語・朝鮮語の世界	2			○	○	○	○		
			国語学1	2			○	○	○	○	科	
			国語学2	2			○	○	○	○	科	
			応用日本語1	2			○	○	○	○	科	
			応用日本語2	2			○	○	○	○	科	
			国語学史	2					○	○	科	
			日本語教育演習1	2					○	○		
	日本語教育演習2	2					○	○				
	アジア英語1	2					○	○				
	アジア英語2	2					○	○				
	実 習	日本語教育実習1	1					○				
		日本語教育実習2	1					○				
	選 択	講 義	イギリス文化講義		2		○	○	○			
			アメリカ文化講義		2		○	○	○			
			イギリス史		2		○	○	○			
			アメリカ史		2		○	○	○			
			英文学概論1		2		○	○	○			
			英文学概論2		2		○	○	○			
			米文学概論1		2		○	○	○			
			米文学概論2		2		○	○	○			
			英語学概論1		2		○	○	○			
			英語学概論2		2		○	○	○			
			英語学講義1		2		○	○	○			
			英語学講義2		2		○	○	○			
			英語音声学1		2		○	○	○			
			英語音声学2		2		○	○	○			
			英語コミュニケーション論1		2		○	○	○			
英語コミュニケーション論2				2		○	○	○				
情報科学各論1				2		○	○	○				
情報科学各論2				2		○	○	○				

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	選 択	講 義	言語情報処理概論1			2		○	○	○		
			言語情報処理概論2			2		○	○	○		
			コンピュータと英語研究			2		○	○	○		
			コンピュータと英語教育			2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論1			2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論2			2		○	○	○		
			日欧比較論1			2		○	○	○		
			日欧比較論2			2		○	○	○		
			美学美術史1			2		○	○	○		
			美学美術史2			2		○	○	○		
			文化人類学			2				○	○	
			経済原論			4		○	○	○		科
			アジア経済論1			2		○	○	○		
			アジア経済論2			2		○	○	○		
			オーストラリア経済論			4		○	○	○		
			オーストラリア産業論1			2		○	○	○		
			オーストラリア産業論2			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会1			2		○	○	○		
			韓国の文化と社会2			2		○	○	○		
			現代韓国事情			2		○	○	○		
			社会学概論1			2		○	○	○		科
			社会学概論2			2		○	○	○		科
			哲学概論1			2		○	○	○		科
			哲学概論2			2		○	○	○		科
			日本経済史1			2				○	○	
			日本経済史2			2				○	○	
			外国経済史1			2				○	○	
			外国経済史2			2				○	○	
			経済地理1			2				○	○	
			経済地理2			2				○	○	
			中国語科教育研究1			2				○	○	職
			中国語科教育研究2			2				○	○	職
国語科教育研究1			2				○	○	職			
国語科教育研究2			2				○	○	職			
教職ゼミⅠ			2			○	○	○				
教職ゼミⅡ			2				○	○				
	自	講	書道1			2		○	○	○	科	教職課程に関する規程第3条第4項 第8号に定める科目
	由	義	書道2			2		○	○	○	科	

※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許
教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

(2) 国際教養学科 開講科目表

履修区分		授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学 科 科 目	必 修	日本語能力強化科目										2単位
		日本語ワークショップ	2					○	○	○		
		英語リーディング1	2				○	○	○	○		26単位
		英語リーディング2	2				○	○	○	○		
		英語ライティング1	2				○	○	○	○		
		英語ライティング2	2				○	○	○	○		
		英語発音クリニック	2				○	○	○	○		
		英語リーディング3	2					○	○	○		
		英語リーディング4	2					○	○	○		
		英語ライティング3	2					○	○	○		
		英語ライティング4	2					○	○	○		
		英語コミュニケーション1	2					○	○	○		科
		英語コミュニケーション2	2					○	○	○		科
		英語プレゼンテーション1	2						○	○		
	英語プレゼンテーション2	2						○	○			
	専修中国語初級講読1				2	○	○	○	○		専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。	
	専修中国語初級講読2			2	○	○	○	○				
	専修中国語初級講読3			2	○	○	○	○				
	専修中国語初級講読4			2	○	○	○	○				
	専修中国語初級会話1			2	○	○	○	○				
	専修中国語初級会話2			2	○	○	○	○				
	専修中国語中級講読1			2		○	○	○				
	専修中国語中級講読2			2		○	○	○				
	専修中国語中級作文1			2		○	○	○				
	専修中国語中級作文2			2		○	○	○				
	専修中国語中級会話1			2		○	○	○				
	専修中国語中級会話2			2		○	○	○				
	専修総合中国語1			2			○	○				
	専修総合中国語2			2			○	○				
	専修中国語上級会話1			2			○	○				
	専修中国語上級会話2			2			○	○				
	資格英語1		2					○	○			8単位以上
	資格英語2		2					○	○			
資格英語3		2						○				
資格英語4		2						○				
トラベルイングリッシュ1		2					○	○				
トラベルイングリッシュ2		2					○	○				
観光ビジネス英語1		2					○	○				
観光ビジネス英語2		2					○	○				
秘書英語1		2					○	○				
秘書英語2		2					○	○				
通訳英語1		2					○	○				
通訳英語2		2					○	○				
国際事情		4					○	○	○	大学が認めた留学生専用科目		
国際表現演習		4					○	○	○			

履修区分		授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	必 修	演習	特論演習1	2				○	○		8単位
		特論演習2	2					○	○		
		卒業演習1	2						○		
		卒業演習2	2							○	
		卒業論文		4						○	
	選 択	論 文	イギリス文化講義		2			○	○	○	12単位以上
			アメリカ文化講義		2			○	○	○	
			イギリス史		2			○	○	○	
			アメリカ史		2			○	○	○	
			英文学概論1		2			○	○	○	
			英文学概論2		2			○	○	○	
			米文学概論1		2			○	○	○	
			米文学概論2		2			○	○	○	
			英語学概論1		2			○	○	○	
			英語学概論2		2			○	○	○	
			英語学講義1		2			○	○	○	
			英語学講義2		2			○	○	○	
			英語音声学1		2			○	○	○	
			英語音声学2		2			○	○	○	
			英語コミュニケーション論1		2			○	○	○	
			英語コミュニケーション論2		2			○	○	○	
			情報科学各論1		2			○	○	○	
			情報科学各論2		2			○	○	○	
			言語情報処理概論1		2			○	○	○	
			言語情報処理概論2		2			○	○	○	
			コンピュータと英語研究		2			○	○	○	
			コンピュータと英語教育		2			○	○	○	
			異文化間コミュニケーション論1		2			○	○	○	
			異文化間コミュニケーション論2		2			○	○	○	
			日欧比較論1		2			○	○	○	
日欧比較論2		2			○	○	○				
現 地 演 習	カナダ現地演習		4			○	○	○	現地演習と文化演習は、同一地域のものを必ずセットで履修すること。		
	カナダ文化演習		4			○	○	○			
	中国語現地演習		4			○	○	○			
	中国語文化演習		4			○	○	○			
講 義	アジア論1		2			○	○	○			
	アジア論2		2			○	○	○			
	フィールドワーク論		2		○	○	○	○			
	東洋史概説1		2			○	○	○			
	東洋史概説2		2			○	○	○			
	日本史概説1		2			○	○	○			
	日本史概説2		2			○	○	○			
	考古学概説1		2			○	○	○			
考古学概説2		2			○	○	○				

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学 科 目	選 択 必 修 B	講 義	人文地理学概説1	2			○	○	○	12単位以上	
			人文地理学概説2	2			○	○	○		
			自然地理学概説1	2			○	○	○		
			自然地理学概説2	2			○	○	○		
			地誌学1	2			○	○	○		
			地誌学2	2			○	○	○		
			アジア研究入門1	2			○	○	○		
			アジア研究入門2	2			○	○	○		
			東南アジアの社会1	2			○	○	○		
			東南アジアの社会2	2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会1	2			○	○	○		
			南・西南アジアの社会2	2			○	○	○		
			インドの思想と宗教1	2			○	○	○		
			インドの思想と宗教2	2			○	○	○		
			近現代の中国	2			○	○	○		
			現代中国の文芸1	2			○	○	○		
			現代中国の文芸2	2			○	○	○		
			漢文学	2			○	○	○		
			日本文学史1	2			○	○	○		
			日本文学史2	2			○	○	○		
			日本文学概説1	2			○	○	○		
			日本文学概説2	2			○	○	○		
			中国の思想1	2			○	○	○		
			中国の思想2	2			○	○	○		
			西南アジアの歴史1	2			○	○	○		
			西南アジアの歴史2	2			○	○	○		
			中国の文学1	2			○	○	○		
			中国の文学2	2			○	○	○		
			日本の芸能と文学1	2			○	○	○		
			日本の芸能と文学2	2			○	○	○		
			比較社会史1	2			○	○	○		
			比較社会史2	2			○	○	○		
			現代アジアの諸問題1	2			○	○	○		
			現代アジアの諸問題2	2			○	○	○		
			アジア・オーストラリア関係論1	2			○	○	○		
			アジア・オーストラリア関係論2	2			○	○	○		
			アジアフィールドワーク1	4			○	○	○		アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目名番号の同じもの)をセットで履修すること。
			アジア社会演習1	4			○	○	○		
			アジアフィールドワーク2	4			○	○	○		
			アジア社会演習2	4			○	○	○		
アジアフィールドワーク3	4			○	○	○					
アジア社会演習3	4			○	○	○					
アジアフィールドワーク4	4			○	○	○					
アジア社会演習4	4			○	○	○					

履修区分			授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	選 択 必 修 B	講 義	日本語のための古典1		2		○	○	○	○		12単位以上
			日本語のための古典2		2		○	○	○	○		
			日本語学1		2		○	○	○	○		
			日本語学2		2		○	○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			南・西南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界1		2			○	○	○		
			東南アジア諸語の世界2		2			○	○	○		
			韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○		
			国語学1		2			○	○	○		
			国語学2		2			○	○	○		
			国語学史		2					○	○	
			日本語教育演習1		2					○	○	
			日本語教育演習2		2					○	○	
			アジア英語1		2					○	○	
			アジア英語2		2					○	○	
			日本語教育実習1		1						○	
	日本語教育実習2		1						○			
	国際コミュニケーション論		4				○	○		大学が認めた留学生専用科目		
	国際特別演習		4				○	○				
	教職ゼミⅠ		2				○	○	○			
	教職ゼミⅡ		2					○	○			
	選 択	講 義	西洋史概説1			2		○	○	○		
			西洋史概説2			2		○	○	○		
			応用日本語1			2		○	○	○		
			応用日本語2			2		○	○	○		
			心理学体系論			2			○	○		
			心理学の歴史			2			○	○		
			美学美術史1			2		○	○	○		
			美学美術史2			2		○	○	○		
			哲学概論1			2		○	○	○		
			哲学概論2			2		○	○	○		
			認知心理学			2		○	○	○		
			文化人類学			2			○	○		
オーストラリア産業論1					2		○	○	○			
オーストラリア産業論2					2		○	○	○			
韓国の文化と社会1					2		○	○	○			
韓国の文化と社会2					2		○	○	○			
現代韓国事情					2		○	○	○			
※教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。												

【アジア学科履修細則一部変更】 2015年度入学生に適用

(略)

II 基盤教育科目

(略)

2 基礎科目群

1) 初年時科目

基礎科目群のうち、初年次科目の新入生演習は、1年生全員が履修するものとする。学科共通履修細則の初年次科目の項を参照すること。

(略)

III 学科科目

1) アジア学科の開設する学科科目については、62単位以上を修得しなければならない。なお、アジア学科の学生が卒業に必要な単位の総数は前記基盤教育科目として規定された単位数とあわせて計124単位である。

2) アジア学科の学科科目は、必修（講義・演習）、選択必修A、選択必修B、選択必修C、選択に分かれる。学科科目には、学年指定のある科目や、同一年次に並行して履修することができない科目があるので、下記の留意事項および国際教養学部規程を参照し、所定の方法で単位を修得しなければならない。

(略)

【国際教養学科履修細則制定】 2015年度入学生に適用

国際教養学科履修細則

I 一般的事項

- 1) 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際教養学部規程、各学科の学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育主事・レクリエーションインストラクターの資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や各科目表・講義内容要旨等を参考にして、『時間制作成の手引き』と各学科等の開講科目表とにより、本年度における履修科目を決定すること。
- 2) 学科履修細則は、各学科により異なるので、各自の所属学科の履修細則に定められたところにしたがうこと。
- 3) 同一時限に同時に開講されている科目は、重複して履修することができない。
- 4) 授業科目のうちで、A、B、C等クラスの区別のあるものは、そのいずれか一つを選択履修すること。
- 5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

年次	1年		2年		3年		4年	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	22	22	22	22	22	22	22

なお、グローバルキャリアコースに属する者の各学期において履修することができる単位数の上限は次のとおりとする。

年次	1年		2年		3年		4年	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

ただし、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。また、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7

リーダーズプログラム 8

リーダーズプログラム 9

リーダーズプログラム 10

リーダーズプログラム 11

追手門U I 論（1年次春学期の履修に限る）

スポーツフィールド実習 I

スポーツフィールド実習 II

交換留学インド

交換留学オーストラリア

交換留学アメリカ

交換留学中国

交換留学タイ

交換留学イギリス

交換留学韓国

交換留学オランダ

交換留学ドイツ

交換留学台湾

交換留学スペイン

海外セミナー

短期海外セミナー

国際現地研修

海外インターンシップ

- 6) 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

前学期の GPA	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00 以上
制限単位数	24 単位	26 単位	28 単位

なお、グローバルキャリアコースに属する者の各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。

前学期の GPA	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00 以上
制限単位数	26 単位	28 単位	30 単位

- 7) 履修登録を所定の方法に従って、指定の期日までに行うこと。この手続きをしない場合には、授業及び試験を受けることも、単位を修得することもできない。

II 基盤教育科目

- 1 基盤教育科目は、22 単位以上を修得するものとする。必修単位 (22 単位) を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位として認める。

2 基礎科目群

1) 初年次科目

基礎科目群のうち、初年次科目の新入生演習は、1 年生全員が履修するものとする。学科共通履修細則の新入生演習の項を参照すること。

2) 外国語科目

(A) 基礎科目群のうち、外国語科目は必要単位数を設けない。

(B) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本語 4 単位を修得しなければならない。

(C) 修得した外国語科目の単位は、卒業に必要な単位として認める。

3) 体育科目

(A) 基礎科目群のうち、体育科目は、2 単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の体育科目の項を参照すること。

(B) 必修単位数(2 単位) を超えて修得した体育科目の単位は、卒業に必要な単位として認める。

3 教養科目群

基盤教育科目のうち、教養科目群は、6 単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情 1・2・3・4 を修得しなければならない。総合科目群は、原則として 1 年次で履修することが望ましい。

なお、履修登録者数によっては、クラスを指定する場合がある。

4 キャリア科目群

基盤教育科目のうち、キャリア科目群は、4 単位以上を修得するものとする。また、キャリアデザイン論は、1 年生全員が履修するものとする。

5 総合科目群

基盤教育科目のうち、総合科目群は、追大 UI 科目、スポーツキャリア科目、国際交流科目の中から、2 単位以上を修得するものとする。また、追大 UI 科目においては最大 8 単位までを、スポーツキャリア科目においては全ての単位を、国際交流科目においては最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

III 学科科目

1) 国際教養学科の開設する学科科目については、56 単位以上を修得しなければならない。なお、国際教養学科の学生が卒業に必要な単位の総数は前記基盤教育科目として規定された単位数とあわせて計 124 単位である。

2) 国際教養学科の学科科目は、必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習)、選択必修 A、選択必修 B、選択(専修中国語科目群・卒業論文・講義)に分かれる。学科科目には、学年指定のある科目や、同一年次に並行して履修することができない科目があるので、下記の留意事項および国際教養学部規程を参照し、所定の方法で単位を修得しなければならない。

(A) 必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習) は、36 単位を修得しなければならない。

① 1 年次配当は「英語リーディング 1」「英語リーディング 2」「英語ライティング 1」「英語ライティング 2」「英語発音クリニック」計 10 単位である。

② 2年次配当は「日本語ワークショップ」「英語リーディング 3」「英語リーディング 4」「英語ライティング 3」「英語ライティング 4」「英語コミュニケーション 1」「英語コミュニケーション 2」計 14 単位である。

③ 3年次配当は「英語プレゼンテーション 1」「英語プレゼンテーション 2」「特論演習 1」「特論演習 2」計 8 単位である。

④ 4年次配当は「卒業演習 1」「卒業演習 2」計 4 単位である。

(B) 選択必修 A(実践英語) は、8 単位以上修得しなければならない。

(C) 選択必修 B(講義(現地演習を含む)) は、12 単位以上を修得しなければならない。なお、「現地演習」については本履修細則IVに、「フィールドワーク/ 社会演習」については本履修細則Vにそれぞれ定める。

(D) 選択科目(専修中国語群・卒業論文・講義)については、必要単位数を設けない。「専修中国語群」のうち、「専修中国語初級講読 1」「専修中国語初級講読 3」「専修中国語初級講読 2」「専修中国語初級講読 4」の履修にあたっては、一つの科目を単独で履修することはできず、必ず「専修中国語初級講読 1」と「専修中国語初級講読 3」、または「専修中国語初級講読 2」と「専修中国語初級講読 4」をセットとして、なおかつ同じクラスで履修しなければならない。

さらに、「卒業論文」については、本履修細則VIに定める。

3) 必修単位数(56 単位) を超えて修得した学科科目の単位は、卒業に必要な単位として認める。

IV 現地演習

1) 現地演習科目は、現地演習である「カナダ現地演習」および「中国語現地演習」と、事前の準備、事後の総括を主内容とする「カナダ文化演習」および「中国語文化演習」からなる。

2) 履修する場合は、同一地域のものをセットにして同一年次に履修しなければならない。

3) 現地演習は、2 セット(16 単位) を履修することができる。ただし、同一年次につき、1 セットの履修しかできない。

4) 受講生側の事情で、現地演習への参加が不可能になった場合については、原則として文化演習の単位を単独で認定はしない。

5) 現地演習への参加に要する旅費、宿泊費などの費用は学生の自己負担とする。

6) 現地演習の詳細については別に定める。

V フィールドワーク

- 1) フィールドワークは、現地学習である「アジアフィールドワーク」と事前の準備、事後の総括を主内容とする「アジア社会演習」からなり、対象地域は、中国、東南アジア、韓国、日本に分かれる。
- 2) 「アジアフィールドワーク」と「アジア社会演習」は、同一地域のもの（科目名番号の同じもの）をセットにして8単位を同一年次に履修しなければならない。個別4単位の履修は認めない。受講生側の事情で、現地学習への参加が不可能になった場合も、原則として「アジア社会演習」の単位を単独では認定しない。
- 3) フィールドワークは、4セット(32単位)を履修することができる。ただし、同一年次につき、1セットの履修しかできない。
- 4) 現地学習への参加に要する旅費、宿泊費などの費用は学生の自己負担とする。
- 5) 現地学習の詳細については別に定める。

VI 卒業論文

- 1) 卒業論文は、選択科目で4単位とする。
- 2) 学科の第4年次に在学し、「卒業演習1」あるいは「卒業演習2」のいずれかの単位を修得した者は「卒業演習」の担当教員の指導のもとに所定の手続きを経て、所定の期日までに卒業論文を提出することができる。
- 3) 卒業論文は、国際教養学科の専攻に関連する研究課題を選び論述するものとする。
- 4) 卒業論文は、所定の様式に従って執筆し、和文の場合には1ページ1,200字で10ページ以上17ページ以内、英文の場合には1行60ストロークとし1ページ25行で、20ページ以上30ページ以内とする。
- 5) 卒業論文は、春学期は6月15日までに、秋学期は12月15日までに教務課に提出しなければならない。期日に遅れたものは受理しない。病気やその他やむを得ない事情により期日までに提出できないものは、その理由を証する書面を添えて願い出た場合に限り、秋学期は1月10日、春学期は7月10日を提出限度として延期を許可することがある。
- 6) 卒業論文の審査は論文審査及び口頭試問とし、複数の教員が担当する。

2015年度より変更があった部分

【国際教養学部規程一部変更】 2015年度入学生に適用

(入学)

(略)

第 29 条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。

2 検定の方法は、別に定める。

3 入学は、教授会の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(休学)

第 35 条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

(略)

(懲戒)

第 59 条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

(略)

規程等

「学科共通履修細則」

2017年度より変更があった部分

【学科共通履修細則一部変更】 2015年度入学生に適用

I 基礎科目群

(略)

B. 外国語科目 (英語)

1. 科目の種類

(1) 実用英語・英語講読・英語 L.L.・英会話・検定英語・グローバルキャリアコース専用英語・Academic Englishの7つの種目をおく。

(略)

グローバルキャリアコース専用英語科目一覧

(略)

Academic English 科目一覧

科目	配当年次
<u>Academic English 1</u>	<u>2年次以上</u>
<u>Academic English 2</u>	

2. 科目の内容

(略)

(7) Academic English

海外留学を目指す学生を対象とし、留学先の正課授業に適応できるよう、英語4技能(Reading, Writing, Listening, Speaking)に焦点を当て、専門的かつ実用的なコミュニケーションを取るのに必要とされる語彙を学習し、表現力を鍛えると共に、効率的に読み書きする方法やプレゼンテーション技術などを中心に学ぶ。授業では、発音練習やリスニング演習、フォーマル・インフォーマル形式のディスカッション、個人やグループでのプレゼンテーションなどを行う。

(略)

C. 外国語科目 (ドイツ語)

(略)

2. 科目の内容

(略)

(2) 表現入門：ドイツ語の音(おん)に慣れ、自分について語り、相手についてたずねる初歩的な力をつける。

(略)

(6) 表現中級1・2：ことばに不自由なくドイツ語圏を旅行でき、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現力をつける。

(7) 検定ドイツ語1：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な読

み・書き能力 をつける。「ドイツ語検定」4級合格を目標とする。

検定ドイツ語2：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な聞き・話す能力を つける。「ドイツ語検定」4級合格を目標とする。

検定ドイツ語3：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な読み・書き能力 をつける。「ドイツ語検定」3級合格を目標とする。

検定ドイツ語4：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な聞き・話す能力を つける。「ドイツ語検定」3級合格を目標とする。

3. 履修方法

(略)

(5) ドイツ語 読解又は表現 の中級を履修した者 又は 履修中の者は、検定ドイツ語を履修することができる。

(略)

D. 外国語科目 (フランス語)

(略)

2. 科目の内容

(略)

(2) 表現入門：フランス語の音（おん）に慣れ、自分について語り、相手についてたずねる初歩的な力を つける。

(略)

(6) 表現中級1・2：ことばに不自由なくフランス語圏を旅行でき、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現力を つける。

(略)

3. 履修方法

(略)

(4) フランス語 読解又は表現 の中級を履修した者 又は 履修中の者は、実用フランス語を履修 することが できる。

(略)

III キャリア科目群

(略)

科目一覧

科目	単位数	配当年次	備考
(略)			
キャリア数学2	2	2年次以上	
<u>キャリア数学3</u>	<u>2</u>	<u>3年次以上</u>	
<u>キャリア数学4</u>	<u>2</u>	<u>3年次以上</u>	

文章論演習	2	2年次以上	
キャリア英語	2	2年次以上	
文章理解演習	2	3年次以上	
社会科学概論 1	2	2年次以上	
社会科学概論 2	2	3年次以上	
人文科学総論	2	3年次以上	
自然科学総論	2	3年次以上	
キャリア形成論 1	2	2年次	
(略)			
表現コミュニケーション (ダンス・ワークショップ 2)	2	1年次以上	
表現コミュニケーション 1	2	1年次以上	
表現コミュニケーション 2	2	1年次以上	
グローバルキャリア論	2	2年次以上	
(略)			
追手門学院大学リーダーズ・ スクール・ゼミナール	2	1年次以上	リーダー養成コース生専用 科目
リーダーズプログラム 1	2	1年次以上	最大 2 単位までを卒業に必要な単位として認める。単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。
リーダーズプログラム 2	2	1年次以上	
リーダーズプログラム 3	2	1年次以上	
リーダーズプログラム 4	2	1年次以上	
リーダーズプログラム 5	2	1年次以上	
リーダーズプログラム 6	2	2年次以上	最大 2 単位までを卒業に必要な単位として認める。単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。
リーダーズプログラム 7	2	2年次以上	
リーダーズプログラム 8	2	2年次以上	
リーダーズプログラム 9	2	2年次以上	
リーダーズプログラム 10	2	2年次以上	
リーダーズプログラム 11	2	2年次以上	単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。

※表現コミュニケーション(演劇ワークショップ1)、表現コミュニケーション(ファシリテーション1)、表現コミュニケーション(リーダーシップ1)、表現コミュニケーション(交渉学入門1)、表現コミュニケーション(プロジェクト・アドベンチャー1)、表現コミュニケーション(ピア・コミュニティ入門1)、表現コミュニケーション(ロジカルシンキング1)、表現コミュニケーション(プレゼンテーション1)、表現コミュニケーション(ダンス・ワークショップ1) (2016年度まで開講) を修得した場合、表現コミュニケーション1を履修することはできない。

※表現コミュニケーション(演劇ワークショップ2)、表現コミュニケーション(ファシリテーション2)、表現コミュニケーション(リーダーシップ2)、表現コミュニケーション(交渉学入門2)、表現コミュニケーション(プロジェクト・アドベンチャー2)、表現コミュニケーション(ピア・コミュニティ入門2)、表現コミュニケーション(ロジカルシンキング2)、表現コミュニケーション(プレゼンテーション2)、表現コミュニケーション(ダンス・ワークショップ2) (2016年度まで開講) を修得した場合、表現コミュニケーション2を履修することはできない。

IV 総合科目群

(略)

科目一覧

分野	科目	単位数	配当年次	備考
(略)				
国際 交流 科目	Contemporary Japanese Philosophy 2	2	1年次以上	大学が認めた 留学生専用科目
	<u>Japanese Economics 1</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
	<u>Japanese Economics 2</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	

(略)

2016年度より変更があった部分

学科共通履修細則の改正部分

※下線部は改正箇所

I	基礎科目群	(略)		
III	キャリア科目群	(略)		
科目一覧				
	科 目	単位数	配当年次	
(略)				
	インターンシップ実習 4	1	1 年次以上	
	キャリア数学 1	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>	
	キャリア数学 2	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>	
	文章論演習	2	<u>2 年次以上</u>	
	キャリア英語	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>	
	社会科学概論 1	<u>2</u>	<u>2 年次以上</u>	
	キャリア形成論 1	2	2 年次	
(略)				
IV	総合科目群	(略)		
科目一覧				
	分野	科目	単位数	配当年次
追大 UI 科目		追手門 UI 論	2	1 年次以上
		<u>笑学入門</u>	<u>2</u>	
		北摂を学ぶ	2	
(略)				
(略)				
1. 放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合の取り扱いは以下のとおりとする。				
(1) 放送大学の科目を修得した場合及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は、総合科目の単位として、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。				
(2) 放送大学の科目は、 <u>追手門学院大学と放送大学との単位互換に関する規則に基づき</u> 単位認定を行う。				
(3) 資格・検定については、大学が指定する <u>資格・検定試験</u> において、本学在学中に一定の水準を満たした				

場合に、当該資格・検定認定機関が発行する証明書類を提出することにより単位認定を行う。

(4) 放送大学科目及び資格・検定のいずれの場合も事前に所定の申込を行わなければならない。

(5) 放送大学科目及び資格・検定の詳細については、掲示等により通知する。

2. 大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合の取り扱いは以下のとおりとする。

(1) 大阪府下の大学・短期大学で組織する大学コンソーシアム大阪が、単位互換協定により提供する科目について、本学が履修を認めた科目を履修し単位を修得した場合、本学で修得したものとみなし、総合科目の単位として、最大4単位までを卒業に必要な単位として認める。

(2) 大学コンソーシアム大阪単位互換協定により履修できる科目の、提供大学・科目名・単位数・シラバス・履修方法等の詳細は、大学コンソーシアム大阪のホームページを参照すること。なお、本学が履修を認めた科目以外は履修することができない。

(3) 大学コンソーシアム大阪単位互換協定による単位修得に関する詳細は、掲示等により通知する。

V 科目修了の認定と試験

(略)

7. 学生は各自の学生証を机上に置き、受験しなければならない。

学生証不携帯の場合は、教務課へ受験許可書の発行を願い出ることができる。受験許可書の発行手数料は金1,000円とする。

(略)

9. 追試験は、定期試験に限り、次の(a)から(e)までに該当する理由で欠席したものに対して行う。

(略)

(d) 就職試験等：就職試験等実施先の証明が必要

(略)

規程等

「社会教育主事の資格取得に関する規程」

2017年度より変更があった部分

【社会教育主事の資格取得に関する規程一部変更】 2015年度入学生に適用

第2条 前条の科目は、次のとおりとする。

法定科目名及び 最低修得単位数		本学開講科目名及び単位数		履修方法
生涯学習概論	4	社会教育概論1	2	必修
		社会教育概論2	2	必修
社会教育計画	4	社会教育計画1	2	必修
		社会教育計画2	2	必修
社会教育課題研究	4	社会教育課題研究1	2	必修
		社会教育課題研究2	2	必修
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12	社会問題論	2	6科目以上 12単位以上選択
		人権教育論	2	
		人権問題論	2	
		比較教育学	2	
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	12	社会教育行政	2	
		博物館概論	2	
		博物館教育論	2	
		博物館情報・メディア論	2	
		職業指導論	2	
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	12	余暇とレクリエーション	2	
		教育原論	2	
		教育心理学	2	
		教育行政学	2	
		教育方法学	2	

(略)